京城日報

(年中無休刊)
本紙定價 一部參錢 一箇月七十五錢 [illegible]
廣告料 五號活字十四字詰一行 一圓五十錢 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九番 振替京城三〇三番

時間表
[illegible]

七月七日夕刊 (朝刊併せて八頁)

前獨帝と道德的罪責 ホーヘンツオル家廢されん

前獨帝は國際聯盟の名にて國際法廷に出廷せしむ可く裁判は道德的性質のものなる可し尙死刑又は禁錮刑を科せらるゝが如き事無く戰爭の責任及び白耳義の中立を侵害したるに對する道德的罪により嚴しく罰せらる可く而してホーヘンツオルレルン家は永久に廢さるゝ旨宣言され一定の住宅を與へ同所より退去するを禁ぜらるべし(倫敦電報)

伯林革命惹起か 軍隊の警戒嚴重

コッペンハーゲンよりの諸報道を綜合するに目下伯林には重大なる形勢を惹起し革命を誘致するにあらざるかと憂慮されつゝあり市內は軍隊の警戒嚴重を極め主なる公共建築物には大砲機關銃据ゑ付けられ食糧輸送の列車は到着せずと(倫敦電報)

漢堡の死傷と損害

漢堡に於けるスパルタカス團大暴動の結果五百四十餘名の死傷者を出し損害數百萬馬克に達したりと(シドニー經由巴里電報)

露都形勢重大 城廓等は過激撤退と共に破壞されん

ペトログラードの形勢重大となり過激派の同市撤退は急速度に行はれトロツキーはクロンスタット要塞を敵の手に渡す前に爆破す可しと命じたり橋梁其他城廓も過激派撤退と共に破壞さる可し(倫敦電報)

不調印後始末 何等の成案無し 今後日本の態度如何を憂慮す

支那の對獨講和條約調印拒絶の跡始末に就き支那當局は苦心慘憺善後策を講究中なるが何等成案を見るに至らず而も不調印の結果日本との關係面倒となり當局は此際日本が如何なる態度に出んかを憂慮しつゝあるが要するに這は支那に取りては最も困難なる問題にして今後如何に落着するや支那政府當局と雖も目下見當著かざる由(北京電報)

委員行動不信任

五日開會せし內閣會議は議論百出遂に其決定を見る能はざりしが巴里委員の行動不信任說多數に傾けり(北京電報)

王正廷佛公使說

駐佛公使胡維德氏の後任として王正廷氏任命せらるべしとの說政府當局者間に傳へられつゝあり(北京電報)

安福派の搦手攻擊 平和期成會聯合會の通電に對し

過日在上海全國平和期成會聯合會にて發せる安福倶樂部解散新國會取消の通電に對し安福倶樂部は一の宣言書を發して之を反駁せるが此程同派所屬議員劉調元饒孟仁汪立元光雲錦氏等は質問書を國會に提出し政府に對し期成會聯合會の處罰を强請したるが該質問書の內容左の如し

上海平和期成會聯合會の通電は約法を蔑視し國會を侮辱するものなり案するに約法第六條第四項に『集會結社は自由』なりとの規定ありと雖も國家を顚覆せんとするものに對しては既に處罰の法規あり議會は各省に赴き國會取消運動を行はんことを宣言せり是れ啻に一種の革命行動たるのみならず國本を動搖せしむるものなり而も未だ政府が此れに對し如何なる處置を取るやを聞かず且つ平和期成會聯合會は人民が平和を希望する心意より同志を集合し和平の方法を研究するものに過ぎず計らざりき婦人匪類迹を其間に交へ竟に平和の名を假り擾亂の策を實行せんとは社會の秩序を擾亂し國家の綱紀に違背せんと意圖するは畢竟政府の處罰辦法の有無に係はるものなり政府は如何なる辦法を以て之を處分すべきか三日以內に詳細なる答覆を請ふ云云(北京電報)

支那國有財產調查

財政部は此程各省に宛て國有財產に屬する鐵、鑛、森林產の調査報告を送還すべき旨を命ぜり(北京電報)

憲政關東大會

憲政會は六日午後二時より築地精養軒に關東大會を開催したるが約千五百名出席加藤總裁及代議士の演說あり宣言決議を可決し同五時過散會せり(東京特電)

秋山民政長官

秋山青島民政長官は七日午前七時半東京着同少憩の後同九時五十分東上せり(下關特電)

帝國製艦能力 海軍補充計畫と水陸設備の增加

計畫と能力

第四十議會に於ける帝國國防計畫に關する議論盛んにして海軍に對しては海軍當局は何故に國防上最少限度の海軍力たる八八艦隊建成の計畫を樹てざりしやと質詰せるに對して加藤海相は

我海軍の工業能力は現計畫以上大艦を建造するの能力なく故に假令ひ之れが計畫を樹つるとするも實施困難なり

と述べ越えて第四十一議會に於ては

我製艦能力は未だ十分ならず又戰時中列國は諸種の點に改善を加へたるを以て之等の傾向を參酌するの必要あり而して既定計畫は大正十二年度を以て一段落と爲しあり十二年度以後に亘る海軍力の維持に就ては大正十年頃より補充建造の必要あるに依り大戰の教訓を加へ新規の計畫は右補充計畫と併せて樹つるも遲きに非ざるべし

と答へ製艦能力即ち水陸設備の增加を計ることの海軍計畫上更に急務なることを說けり爾來我海軍力の整備遲々たるは製艦能力の不十分なる爲なりとして世上製艦能力の問題に就き注意を惹くに至れるが議會に於ける海軍當局の說明は尙要を盡さず議會が製艦能力の問題に就いて諒解せること一知半解たるを免れざるが如く識者の遺憾とする所なり

水陸設備費

艦艇能力の增進を計るべき經費を包含する水陸設備費を以て支辨すべき事業の範圍は頗る汎く之を大別すると

一、海軍工廠(橫須賀、呉、佐世保、舞鶴)の設備費
二、海軍各學校(水雷、砲術、兵學校等)設備費
三、各鎭守府海兵團の設備費
四、各軍港、要港防備隊の設備費
五、航空隊の設備費(現在は航空隊設備費として獨立し居るも近き將來に於て水陸設備費中に包含せらるべきものなり)

等にして海軍工廠の設備費も亦左の如く類別さる可し

一、造船部(艦艇を建造すべき船臺の設備、工場の設備、船渠の設備)
二、造兵部(水雷、砲熕等兵器の製作、製鋼部の如きも造兵の部に入るべきものなり
但し呉工廠は製鋼部を造兵部と對立せしむ
三、造機部(機關、機械の製作)

我海軍にして之等設備の爲に大正十二年度迄に支出せんとする額は當初の計畫額及び其後の追加額九年度以降の年割額等左の如し

當初計畫額	四一、〇六六、一一一
七年度追加額	二九、二一七、二二七
八年度同上	一八、三九九、八五八
總計	八八、六八三、一九六
內七年度迄支出額	四四、六二二、八二二
同八年度以降支出額	四四、〇六〇、三七四

計畫と設備

而して右年割額左の如し

八年度支出額	二〇、〇三六、七一五
九年度同上	七、〇〇〇、〇〇〇
十年度同上	五、六〇〇、〇〇〇
十一年度同上	五、七〇〇、〇〇〇
十二年度同上	五、七二三、六五九

の計畫は八四單位艦隊建成の爲に要する設備費にして第四十議會に於て追加したる二千九百萬圓弱の設備費は同議會に於て軍備補充費即ち軍艦製造費の追加されて新に巡洋戰艦二隻建造計畫を樹て八四艦隊建成の事となりたるを以て設備費も亦之に對するもの、六艦隊建成の計畫は八四計畫遂行に要する設備にして前記軍艦製造費追加の製艦型變更に要する經費も要求され同年度以降建造の戰艦は既定計畫のものより排水量を增加したるを以て之に對する設備と從來戰艦に裝備せる主砲は十四吋砲なりしが戰艦に於ける裝甲板抵抗力の增加と交戰距離の延長は其口徑漸次增大し來り又魚雷の發達に伴ふ製作設備ヂーゼルの爲に支出を要するものにして八六計畫を遂行する爲の

擴張費に非ず

故に海軍省は八年度艦隊編成に當りて軍備補充計畫に伴ふ水陸設備の擴張を計る可く總額約八千萬圓の追加を要求し軍備計畫に對應すべき設備を爲さんとしたるが大藏省の査定に依り僅に其一部を認められ八年度追加額は呉、横須賀兩工廠に於ける船臺の延長(戰艦)新設(小艦)各工廠に於ける原動力の增設、呉製鋼部擴張、造機力の增設、呉製鋼部擴張等の一部、之等下士卒增加の爲に要する教育機關の設備擴張に支出する事となれるが八年度追加額を以ては僅に當面の缺陷を補ふに過ぎずして既定の八六計畫を遂行するにも尙水陸設備の擴張を要し八八艦隊の完成を計らんとせば水陸設備に於て一億數千萬圓の追加を要する次第なり(東京)

總督著京期

既報の如く四日出發東上せる長谷川總督は六日朝下關に著同日午前十一時門司港より備後丸に搭じ神戶より鐵路東上の筈なるが東京著は八日夜の豫定なる旨神田祕書官より總督府に來電ありたりと

調印拒絶眞相 委員の不一致

支那調印拒絶に關し支那に達したる各種の情報を綜合するに六月二十一日支那政府は巴里支那委員に對し最後の訓令を發し國全權に對し其の內容は日本の眞意並に明瞭となり之れを信頼するに餘りあるを以て

留保其他

の方法に出でずして列國同樣調印すべしとの意味にて右は廿五日には既に支那委員に入手せるものたるにも拘らず支那委員たる陸徴祥氏と王正廷、顧維鈞氏等の間に意思の疏通を缺き調印當日に至りて王、顧の兩委員はヴエルサイユに來らざるより陸氏は此間に非常に斡旋し北京政府訓電の如く調印を行はんとしたるも遂に之を果さゞりしものにして拒絶又は留保と云はんよりも調印洩れとなりたる形なるが如し當日調印式場に於ける五大國の委員は何れも支那委員の不參加を見て驚異の感に打たれたるも他に爲すべき方策なきを以て已むなく

支那調印の順序を變更

し之を總括したるなり右の事實は、王顧兩委員の獨斷專行に出で將來の政治的立場を擁護せん爲め政府の電命を無視したるものたるは明かなるが北京政府に於ては其の情報に接し意外の感ありたる如きも今更如何ともする方なきを以て善後策講究中なる趣なるが此際更に最後の訓電を發し若し王、顧兩氏にして之に聽從せざるに於ては直に講和委員に任命せられたるも王、顧兩氏等に壓迫を蒙り未だ一回も講和會議に列席せざりし胡維德、施肇基氏等に命じ以て調印を爲さしむるに至る可し唯此際に於て聯合國は直ちに支那の調印を許容するや否やは幾分疑問なき能はざるが如し(北京)

持地長官訓令(承前)

郵便貯金獎勵

朝鮮に於ける郵便貯金創立已に十餘年累年順調に增加し明治四十二年度末現在高は僅かに二百三十三萬一千圓に過ぎざりしも大正七年度末に至りては一千四百三十六萬餘圓を算するに至り此の如く秩序的發達を遂げし所以のものは是れ固より人文の發達一般經濟の進展に因ると雖亦當局者諸氏の盡力に歸せざる可からず本官は其の勞を多とする所なり然れども進んで之が內容を檢すれば其の大部分は內地人の貯金に屬し朝鮮人の貯金額は僅かに二百五十餘萬圓之を人口に割り當つれば內地人は三十三圓餘なるに朝鮮人は十五錢餘に過ぎず其の間非常の差あり是れ即ち朝鮮人に對する郵便貯金の獎勵は前途猶遼遠なるを思はしむるものなり今や物價の昂騰は著しく朝鮮に於ける主要產物の價格は騰貴しつゝある時代に在りて殊に米麥大豆等の三種に就て假りに大正五年中の生產高を大正七年三月同七年三月同八年三月に於ける石相場を標準とし計算するときは大正六年に比し大正八年には三億二千萬圓を增加すべき割合なり是に由りて之を觀るも朝鮮に於ける富は近年著しく增進しつゝあるは掩ふ可からざるの事實とす此時に當り新附の國民に勤儉を鼓吹し儲蓄の風を作興し以て貯蓄心を涵養せしむることは最も時宜に適したる施設なりと信ず當務者は宜しく之に顧み適切なる方策を講じ益郵便貯金事業の發達を圖られんことを望む

職員氣風

世界思潮の變遷に伴ひ世上質實剛健の氣習は漸く頽廢し輕佻浮薄に流れんとするの弊なきに非ず今や歐洲の戰亂も漸く收まりて百事面目を一新せんとす此時に當りて職に在る者は階級の上下を問はず大に志氣を緊張し奮勵以て職務に盡さんことを期せざるべからず各自宜しく責任を自覺して怠慢弛緩を戒め相扶け同心協力以て各其の使命を完うせんことを望む若し夫れ或は綱紀を紊し或は職務を忽にし職責を忘るゝ者あらば本官は假借なく處分を加へ又は之が處分を指示し以て官紀の振肅を圖らんとす部局長主任は以上訓示の趣旨を體得服膺し身を以て其の範を示し以て部下を指導誘掖し本官訓示の趣旨を貫徹せしめらるべし(完)

鮮鐵滯貨漸減

最近鮮鐵線の出廻り狀況を聞くに注文中の機關車三十三輛到著し是れと同時に從來使用の機關車を修繕せしめたるに是又竣成したる爲め六月より急に輸送力を增大し滯貨數量は益々減少し殊に前月に比し僅に麥に於いて三百二十七噸大豆に於いて三百餘噸增加したるのみ米雜穀等の滯貨は著しく減少したり即ち五月末と六月末の滯貨數量左の如し

	五月末	六月末
米	四七八一噸	四六八七噸
麥	六五〇噸	一七二一噸
大豆	二一九八噸	二五五二噸
雜穀	一六四九噸	四〇〇噸
粟	五四七四噸	二〇六一噸

是れを各線別にするに米は京釜線南行に在つては二千五百九十一噸同じく北行に在つて四百五十六噸計三千四十七噸京義線南行千四百四十九噸北行廿三噸計千四百七十一噸又

湖南線に在つては

南行八十九噸北行五十二噸計百四十一噸京元線に在つては南行十四噸北行十四噸計二十八噸なり又大豆は京釜線南行百三十四噸北行六十六噸計百九十八噸京義線南行百二十九噸北行には無く京釜南行二百四十七噸北行百[illegible]計[illegible]湖南線南行[illegible]北行[illegible]京元線南行[illegible]北行[illegible]計[illegible]にして麥及雜穀は京釜線及京義線に[illegible]なる[illegible]らんと

上半末金融

上半期末たる六月末日の京城組合銀行貸出し殘高は預金六百十八萬八千圓貸出し六百六萬二千圓にして之を十五日の現在に比すれば預金百五十萬圓を增加し貸出し七十萬圓の增しとなり期末金融の繁忙を語り居れり

各地在米數量

六月三十日現在總督府への電報に依れば六月三十日現在各地在米數量左の如し

仁川	七萬九千五十一石
江景	一千九百五十二石
群山	六萬三千七百石
木浦	一萬六千九石
鎭南浦	六萬五千石

而して之を六月二十日現在に比すれば仁川は二千四百六十八石、鎭南浦は五千石を增加し、江景は八百五十三石木浦は四千七百石を減少せり

米價大勢保合 材料待の姿

七月に入りて米界は保合を續け硬軟双方睨み合の狀態にあり仁川期米亦殆んど波瀾なき釘附けとなり出來高減內地各市場も概ね保合圏內の小浮動なるがかく相場に變動を失ひたる理由は(一)內地朝鮮を通じ順氣旺して申分なく稻作の前途樂觀され居れる事(二)從つて貯藏米の賣出を見合み居れる事(三)餘りに高ければ政府にて何等かの調節策を講ずべしとの氣構へある事等を以て賣方は材料として米高を抑へ居れるが一方買方にては(一)外米百五十萬石政府の手にて輸入されんとの說は單なる噂に過ぎず(二)諸物價は漸騰狀態を辿り居れるに獨り米のみ安かるべき理由なし(三)在米豐富投物頻出すべしとの豫想は少くも實情に疎く農家は懷合の關係より見るも安値には賣り放たず(四)目下の順氣は好良なれども尙ほ稻作の前途は必ずしも樂觀し難き事等を材料とし突張り居れり而して兩派の根據には相當の理由あり睨み合を續け居れる譯なるが遂に假令天災による稻作の被害甚大なる如き若くば在米豐富の事實現はるゝか要するに硬軟何れにか左袒する有力材料出現せば米價は持合圏を脫するに至らんか

取引所手數料引上 五日附認可 從前の倍額

仁川取引所より申請中なりし賣買手數料額及中買人口錢額變更の件は五日愈々其筋の認可ありたり即ち從前建米百石三圓日仕舞同一圓五十錢の料額は夫々其の倍額に引上げらるゝこととなりたるが斯くの如く急激なる引上げに對し認可を與へたるは取引所の整理、經營の狀況等現下の事情に鑑み當局に於ても已むを得ざるものとして特に認容するに至りたるものゝ由

鮮鐵輸送貨物

七年度中朝鮮鐵道に於ける輸送貨物總數量は二百六十萬八千噸にして內重なる貨物を擧ぐれば米三十五萬八千噸石炭三十三萬噸木材十六萬八千噸大豆十三萬噸鹽十一萬二千噸軍用品十一萬九千噸なりと

會間線工事延期

滿洲大興合名會社經營に係る會寧より間島に至る鐵道二十五哩の線路は目下工事中なるが難工事の箇所あり豫て其の筋に工事延期方申請中の所七月二日附認可ありたり

客車模樣替

豫て龍山工場に於て客車四輛模樣替工事中の處四日一輛落成し是にて全部の竣成を告げたり

藁五萬貫購入

龍山陸軍倉庫にては倉庫長松室主計正契約擔任官となり藁五萬貫購入札に附す事となりたるが右は七月より九月に亘り京城龍山屯在部隊に分納すべく入札期限は七月十八日午後一時限り入札は郵便電報にても差支なく契約保證金は各自見積り價格の百分の五なりと

酒造會社認可

龜谷愛作氏外七名よりの申請に係る元山酒造株式會社設立の件は七月五日附許可の指令ありたるが同社は本店を元山府に置き資本金三十萬圓を以て淸酒、燒酎其他の酒類及び味噌醸造販賣を爲すものなりと

澱粉營業追加

元山に本店及び工場を置き資本金五十萬圓にて各種澱粉の製造販賣を營む朝鮮澱粉株式會社は從來の營業科目に同上の加工販賣及蔬菜、果物の栽培加工販賣其他を追加すべく許可出願中の所七月五日附許可ありたり

金剛山自動車

滿鐵京城管理局經營金剛山探勝自動車は高麗溫井里間は七月一日より每日運轉し又平康長安寺間は從來隔日運轉中の處探勝旅客の便を圖り五日より平康發每日運轉する事となれりと

東拓所長會同

去る二日より東拓樓上に開會中なりし各出張所長の會同は七日略終了せしが協議事項は[illegible]各方面に亘れりと

廿師團長著田

淨法寺廿師團長一行は七日午後一時大田着中川旅館に投宿し八日大田第三大隊の隨時檢閱を爲すべく內野旅團長は右檢閱立會の爲め七日大田に著したるが一行は九日大邱に向ふ豫定なり(大田)

嘉納校長著期

東京高等師範學校長嘉納治五郎氏は滿鐵の囑託に依り近く大連に赴き大連を始め滿洲各地に於て柔道に關する講演を爲し各地柔道大會に臨みたる上來月中旬來城京城管理局員の爲め柔道獎勵の講演を爲すべく夫と同時に龍山に於て柔道大會を開催すべしと

一高教授來鮮

第一高等學校教授大沼淳藏米田源次郎の兩氏は同校に敎鞭を執りて以來實に三十年に及べるが今回同氏の薰陶を受けたる關屋學務局長、飯泉鮮銀祕書役長其他在鮮門下生一同の勸說に因り愈々來鮮のことに決定し來る十五日東京發十七日朝釜山著同港視察の上東萊に一泊大邱に立寄り十九日頃入京約一週間滯在の上金剛山、平壤、新義州の各地に旅行し歸東すべしと

一高生徒來期

第一高等學校生徒約五十名は同校教授引率の下に七月十七八日頃敦賀に集合浦鹽に直行し同地並にハ市ブ市チタ市等を經てバイカル湖畔イルクーツクに赴き引返し哈爾賓、長春、奉天、大連、旅順の各地視察し平壤を經て入京二日間滯在の上各方面視察の筈なり

松平子張宴

東拓理事松平直平子は七日午後七時より來城中の東拓各出張所長を主賓とし千代本に設宴夏秋理事並に支店各課長主なる幹部も列席す

出張命令(五日附)

左の通り出張命令ありたり

總督府技師 本間德雄
平壤、大同江へ出張を命ず(豫定四日間)

元山稅關長 大谷正之助
敦賀、伏木、七尾、新潟、東京、門司へ出張を命ず(豫定二十六日間)

人事消息

▲北村健吉氏(京城府事務官) 病氣にて引籠中なるが當分勤務するこミ難かるべしと
▲藤原正文氏(支那交通銀行顧問) 七日夜退城の筈
▲藤田民臣氏(旭硝子會社重役) 七日朝入城天眞樓へ
▲宗像球夫氏(鮮銀平壤支店長) 同上
▲夏秋十郎氏(東拓理事) 來城中の氏は來る九日朝西鮮方面に向け出發すべしと
▲山田陸槌少將 八日發歸東の豫定
▲石井英橋少佐 同上
▲中井理學博士 六日朝內地へ
▲伊東工學博士 同上
▲內野辰次郎少將 足立副官を隨へ七日大田へ
▲本木房吉氏(辯護士) 六日大邱釜山へ

八面鋒

◆前獨宰相得士人は前獨帝の代りに自己を審問せよと云ふ
◆獨逸憲法上より見れば皇帝は不可侵權を有す故に責任は無い
◆責は其補弼の任にある者の負ふは當然也得士人茲に氣付か
◆然ども聯合側は獨逸帝政は既に崩壞せり憲法は最早無効也
◆殊に國際法規を無視し非人道を極めたる前獨帝なるが故に
◆例の憲法の規定に反するも世人心の僞極刑を望まんとすか
◆若し得士人の申出聯合側に容許されず不可侵權より剔出せば
◆當然貧田振恐も軍事審問を受けざるべからず魔劍禪亦然り
◆帝政擡頭し軍閥威を振はんとするも遂に一時の現象のみ乎
◆維遜君堂々凱旋將軍の如く府に歸る米人の歡迎振り見よ
◆吾人の頗る興味を以て歸米後の維君を見るは其對內政策也
◆何となれば國際聯盟も何とか兆が付かんも對資本主義如何
◆米の經濟的缺陷は資本的帝國主義也資本萬能主義の極端也
◆米の金權政治敢て珍とならず曾て廣徹經土政界より葬らる
◆原因は虎渠大征伐にあり彼を支持せし共和黨の二分も此時
◆米にては新時代の國民思潮を透察し新き國民思想に順應し
◆新政策を樹てず時代遲れの資本帝國主義に全力を上ぐる丈
◆勇氣ある政治家ならずんば其生命も長からず維君果て如何
◆軍備大擴張資本的海外領土獲得は彼等の使命にして大希
◆之に極力反對は頻發の勞働者社會主義無政府主義者の運動
◆勿論米政府は之が撲滅の爲め思切たる民主的武斷政策を敢行
◆然れ共金權政治の止まぬ間は彼等の根を絶つは難事たる可
◆巴里會議にて列國委員を睥睨せし如く今度も睨が利や否や

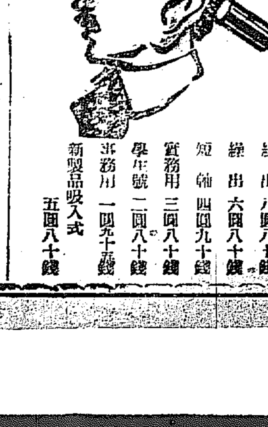
朝鮮三十大本山御用達所
各宗御佛壇佛具調進所
京城本町貳丁目
おぐらや 小倉佛具店
電話一五七一番 振替二九五一番

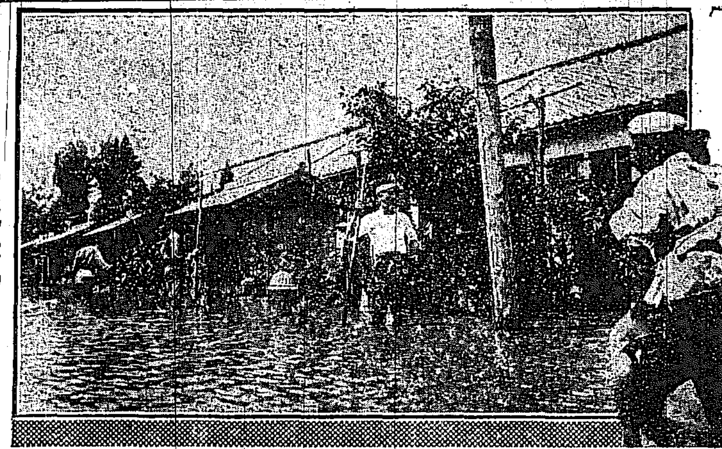
直輸入品着
耐久力無比使用輕快
翕然需用を喚起せり
アルミニユーム 匙形ペン
英國ニユージランド ヒース會社製
第五回契約品荷著低廉
賣捌諸同業者各位へは特價
京城南大門通三和町
富田紙文具店
電話二三六・振替一〇八八

おほきみみはなくすり
大木耳鼻藥
處方、優秀 配劑、適切 用法、簡便
●藥價 小瓶二十錢 大瓶五十錢
●各地到る所の藥店にて取次ぎ販賣す
東京 大阪 大木合名會社 [illegible]

日英水電株式會社製
純良カーバイト
朝鮮元賣捌所
電氣事業出願手續
電燈電力工事請負
私設電信電話工事請負
京城本町一丁目四八
扇風機特價販賣

越田電氣商會
電話一四三〇番 振替京城六五六七番

▼鮮滿を風靡する
パイン萬年筆の權威

特出 八圓八十錢
總出 六圓八十錢
短軸 四圓九十錢
實務用 三圓八十錢
學生號 二圓八十錢
事務用 一圓九十五錢
新製品吸入式 五圓八十錢
▼萬年筆の名は
パインに依りて愈高し▲
發賣元 京城太平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番



◇漢江の出水(龍山漢江通にて)

獨逸醫界は何うなる

モウ日本の御手本には成るまい 恢復は英佛より早からう

世界の平和がいよ〳〵來た戰時中六年間全く封鎖の状態にあつた獨逸醫界も愈て開放されるであらう曾ては世界

醫學の牛耳を執つた 獨逸醫界の現状は如何に就き某氏は語る『實は想像も出來ぬ程の研究問題だ併し一般醫界の研究は大した進歩はあるまい何故かと云ふと總ての學者大家並に學生迄も悉く出征して殘つたものは老朽者ばかりであつた併し一面毒瓦斯の如き又は食料問題等で

戰爭に關係した事項 で思ひも寄らぬ大研究が出來て居るかも知れぬから平和克復の獨逸研究は最も興味が深いと思ふ扨て戰敗國としての獨逸の社會組織の恢復期は何うかと云ふと勿論戰敗國民の心理状態から考へても戰勝國民に劣らぬ勇猛心を發揮して必ずや其恢復期は英佛よりも早いと思ふ

醫學の方面 も同樣である獨逸國民は勤勉で持久力があつて組織的研究を遂げると云ふ特殊の性格であるから戰後の國力恢復には目覺しい活躍を試むるであらう併し醫學方面にはコッホ、エルーリッヒ、ベーリングの諸大家は既に故人で現在に於ては知名の大家はないから或は再び世界醫界の權威たり得るか何うかは問題である顧みるに我醫界は從來主として御手本を獨逸から取つて居たが

開戰後五年 間餘は兎も角一本立となつて世界的の發見も研究も發表した此點に於ては米國に對して更に遜色がない今後は勿論獨米其他と世界の大舞臺で競爭を試みる事となる今後は留學生などと云つて獨米等に派遣せずとも內地で充分に研學が出來る唯參考の爲めに歐米諸國の斯界を一通り視察する位の事になるであらう留學生と云ふ文字は過去のものとして學界から葬りたいものである』

伊太利の大地震

多數の死傷者を出す

伊太利カタニア地方に大地震あり八十四回に亘り震動ありて多數の死者負傷者を出し鐵道及び電線の被害多し(巴里電報)

山陽全線復舊

六日午後に至り

四日以來洪水の爲め列車不通となれる山陽線三原河內間外三箇所に對し復舊工事中なりしが六日午後一時までに全線開通せり(下關特電)

日の永い頂上

八日は小暑

八日は二十四節中の小暑であるが『温風始めて至り蓮始めて華さき、鷹學を習ふ』とあり、小暑の後十六日目にして大暑酷熱の期に入るのである。京城の時刻では八日午後二時二十一分に當る。一年中で日の永い頂上であつて京城時刻にすると日出と日入は左の如くである。

日出 午前五、一九 晝間 一四時三九
日入 午後七、五七 夜間 九時二一

横斷飛行開始

英飛行船出發

公式に發表せられる處に依れば英國飛行船は大西洋横斷飛行の目的を以て一日夕出發したがハリファックス通過の上米國に到着の筈なりと(倫敦電報)

濁流渦く京釜線

僅かに樹梢と鐵路とを殘して 満目只一面の泥海と化す

京釜沿線は五日以來の豪雨の爲め到る所非常な出水で特に大田以北の鐵道沿線はたゞ見る濁流に或は家を流し或は田畑を沒して實に慘状見るに堪へないものが尠くなかつた大田鳥致院の六日の雨は近來にない豪雨で其雨量は素晴らしいものであつたさうだ鳥致院南部の平地は廣漠數里の間一面の泥海で六日の夜は約二尺も出水し電柱は碍子を僅かに水面に浮かべてゐた相で七日午前九時頃

記者の目睹 した時は大分減水したのだと云つてゐたが夫でも一丈以上の出水で物凄い濁流の渦が魔の如く押流れてゐた。一面の泥海の所々に點在するアカシヤの梢と鐵路だけが視界に入るだけで右も左も泥水の渦である恐ろしい濁流が渦卷き泡立つて押し流れ地かれし浪を立て流れてゐる鮮人家の屋根だけが水面に浮かんでゐたのも數多かつた窓障子其他の

器物が濁流 に卷かれて流れて行くのも恐ろしかつた家々を流されたらしい鮮人達が三々五々鐵道線路に佇んだり腰かけて疲れ切つた顏で流れ行く狂暴な泥水を憂氣に眺めてゐるのは側目からも氣の毒に堪へない。鳥致院から北の全義あたりは既に水が幾分か減つてゐて二尺ぐらゐの出水で植付けを終つた田が滅茶苦茶に赤土で押し流されてゐるのは全く目も當てられない永登浦迄も

道路が壞れ たり橋が落ちたりした場所は數ふるに遑がなく列車からも點々と指呼する事が出來る程であつた、水の退いた所では鮮人農夫が鍬や鋤を持つて一生懸命に水を排けたり水を堰止めたりして働いてゐた。安養から始興へかけては漢江の支流である始興川が出水して一面の濁流茲は左程の深さはないが氾濫した場所は非常に廣い、平常は白い磧であつたり田畑であつたりしたのが

一面の濁流 で永登浦などは構內ですら出水の被害を受けてゐる位だから六七尺も低い市街は一面の浸水で船で交通をやつてゐる有樣である永登浦を出ると漢江を圍んだ低地は一面の出水で遠く新舊龍山まで濁流が續いてゐる鷺梁津あたりは一面の出水で漲つた水面にポプラやアカシヤの新緑が聳いでゐる

満目荒凉 と云ふ形容が今の場合一番相應しかつた愈々漢江へかゝると我の楊柳繁つてゐる鷺梁津よりの魚家のある洲は一面に濁流に洗はれ見るも傷ましい慘状である未だ〳〵水は退きさうにもない遠く河上から一面の濁流が渦を卷いて押し流して來る出水量は三丈に近いと聞いた濁流の表面に黑い點々として押し流されて來るものが多い

狂暴な泥水 が河上から押し流して來た犧牲である列車の窓から見た鳥致院以北は全く濁流の天地で慘澹たる有樣であつた(一記者)

水に包まれた龍山

物凄き豪雨中の六日夜 避難民の人を呼ぶ悲しき叫び

四日來の豪雨は六日夜に到るも歇む氣配なく益々降り募りて篠つく雨を一注するが如く加ふるに風さへ出でたれば漢江

河畔の家々 は土嚢上浸はれて行くらむ如く人皆生きたる心地なし午後十時雨を突破して漢江第二人道橋に到れば常は一滴の水さへ認めぬ河床に濁流滔々として橋臺に激し兩岸のポプラの如きは半ば水に浸り梢のみ水中に搖げり漢江本流の如きは宛ら海嘯の押し寄するやうに怒濤凄じく闇にも白く

波頭は白龍 の躍るかと思ふ許り、轟々の響は凄たる昔大に響いて天は暗澹と搔き曇り水に轟いて水は洶湧と黑を染め物凄さ限りなく天も地も唯一色の暗夜の中に、避難民が騷ぎ提灯の火のみ處々に浮いて人々を呼ぶ悲しき聲の森に響く哀れ深し去つて舊龍山方面に走れば電車は元町三丁目停留場より先に進まず、前方三米突先に漢江の濁流氾濫して線路を埋め浸水家屋は

破船の漂ふ が如く泣叫ぶ子供等の聲には一種云ふ可らざる哀愁の籠れるを聞かずや秋を返してだら〳〵坂を上り元町四丁目に到れば運送業エッチ商會より下の家は何れも浸水し避難民は舟にて往復しエッチ商會の店員等は彼等濁流の襲來に備ふべく意氣天を衝くの慨あり何を聞いても

ブッキラ棒 の挨拶に驚いて踵を返せば雨漸く歇んで風のみ狂ひに狂へり、時に十一時三十分、便所に浸水したれば此の邊一帶に臭氣堪へ難く坐ろ洪水後の惡疫發生を懼れしむ

新舊龍山

共濁水に襲る 慘憺たる光景

七日午前の龍山

明くれば七日前日來の豪雨は稍小降りとなれるも如く碧瑠璃の空高く白雲悠々として旭日漸く爛熟して苦熱堪へ難し、空は晴れたれども上流の雨は

漢江に溢れ て押し寄せ午前九時には三十一尺一寸の增水を示せり、軍司令部裏の高地より流れし水は總督官邸裏の蓮池並びに道路に溢れ一方漢江の濁流は鐵道線路を越えて新練兵場を襲ひ漸次增水して無線電信所附近一帶は泥海に化し見る〳〵水は鐵道社宅方面に溢れたり、浸水しては一大事と矢野龍山消防組頭は分隊長は滿鐵よりの人夫五十人と協力

全部の奮勵 を命じて鐵道公園東側に防禦工事を施し指揮督勵したるも濁流は一寸二寸と漲り忽ちの中に鐵道社宅五十餘戸を襲へり又漢江通第十八銀行支店裏手に接し舊龍山は浸水には至らざりき舊龍山は祭より溢れたる濁水襲來し附近の人々を騷がしめたるも床までの浸水家屋あり又

元町四丁目 は被害最も甚だしく內地人家屋床上に達したるもの八戸床下まで浸水せるもの四戸朝鮮人家屋は床上三戸床下十五戸の浸水家屋を出せり避難民は何れも元町二丁目本願寺に收容されたり麻浦方面の氾濫は最も甚だしく內地人家屋床上に達したるもの二戸床下に達せしもの二戸朝鮮人家屋床上二百二十二戸床下五十二戸倉庫二十六棟浸水し避難民は

公立普通校 に收容されたり又二村洞方面にありては內地人家屋床上二十四戸床下五十三戸朝鮮人家屋床上三百八十八戸床下百六十戸浸水し慘憺たる光景を呈せり避難民は龍山小學校に收容されたり幸に人畜には被害無かりしも今後惡疫發生すべきと共に惡疫豫防策を講じ居れり

京城市內

被害少からず

本町署管內に於ては七日朝迄に浸水家屋を見るに至り大和町老人亭附近の路面流失北米倉町京城倶樂部の石垣破壞其他各所に道路石垣の破壞されたるあり內譯左の如し

床下浸水鮮人家屋三十四、同內地人家屋二、外人家屋一、石垣破損九箇所二十七間、路面破損九箇所百八十間、路面流失二十箇所二百七十三間

煉瓦塀の崩壞

人畜死傷無し

南米倉町京城倶樂部の廻りに面せる三丈餘の煉瓦塀は連日の豪雨の爲め六日午後四時一大音響と共に崩壞し壁下の旭町一丁目百九十五番地內外興業會社員大賀徳吉氏宅は家屋破壞したるも幸に死傷者を出さゞりし

鐵道の被害

前日來の豪雨の爲め京釜線西井里烏山間は線路不通となりたるを以て直に應急工事に着手し同九時十五分開通せり、南行直通列車は釜山驛を三時三十分又釜山發奉天行直通列車は西井里驛を一時間遲延せり其他京釜線路各所破壞危險に付五日より工事中なりしも何れも無事にて列車運轉に危險なし

纛島東幕方面

一帶海と化す

漢江の增水に依り昨夜十時頃には纛島、東幕、漢江里、往十里の一帶は一面の海と化したれば床上浸水家屋四百二十戸、床下浸水家屋三百十戸、東幕方面に於ける浸水家屋百六十六戸に及び、纛島競馬場一帶の畑地は泥水の洗ふに任せつゝあり。

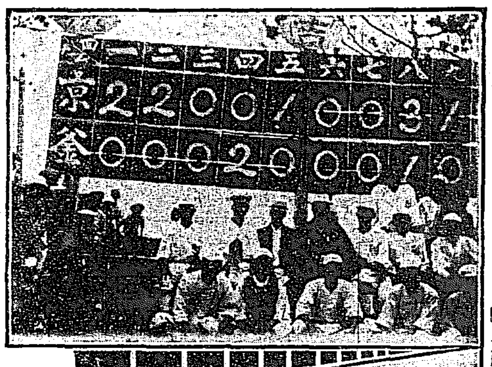
一帶は一面

の海と化したれ ば京城憲兵分隊に於ては昨夜來人を派し浸水家屋約一千戸に及びたる有樣にして警戒に任じ居れるが人畜の死傷は豚二頭流失せしのみにて其他の被害なく往十里ガードよりは渡船七八艘を以て

交通の連絡 を取りつゝあり本日午前中迄の報告に依る

新淵江增水

江原道漣川郡淵江は連日の降雨の爲め約十尺增水し車馬の交通杜絶せり



◇京釜記者團對抗戰 上圖は優勝せる京記軍選手と當日のスコーア 下圖は京城側の應援團翻れる大旗は本社々旗

京釜記者團對抗戰

遠征した京城側が大捷す 七日朝意氣揚々として歸城

京城記者團チームは鋭氣一點張りの主義によつて釜山遠征を企て過般來交渉を遂げ愈々盛軍百里遠征の壯圖を決行する事になつた五日京城は

車軸を流す 豪雨であつたが釜山軍からの急電で倏突くの雨の中を南大門驛頭に集合したのは列長牧山公論社長、應援團長橘大朝、各選手應援團二十六名であつた午後七時五十分發の釜山急行車上の人となると見送の各社關係者其他の爲歳聲裡に列車は轟々として豪雨の中を突進して釜山へと向つた。

列車中では 選手連の策戰や聲援團の練習などで賑やかに過ごし六日列車が釜山驛頭に到着すると早速應援歌が高唱されフレー〳〵記者團!が絶叫される釜山記者團の出迎へを受けて驛前から二臺の自動車に分乘した京城記者團は商工倶樂部で少憩しやがて朝鮮時報社聲應の豊饗を受けて試合場大正公園グラウンドに向つた。此日

朝來の曇天 であつたが午後から暑い太陽が照り出したので觀衆も刻一刻と增加して約二千を越ねた午後一時兩軍列を正して互に挨拶を交した後佐々木道長官の始球式があつて京軍先攻で試合に入つた。

京記軍は第一回に二點を得たので元氣付き第二回に二點第五回に一點第八回に三點第九回に一點を得たが釜山軍は當初より立ち後れの氣味で第四回に二點を得たのみ第五回以後も伴々と攻め寄せたが毎回無爲第八回に一點を得たので殘念がつたが結局九對三と云ふスコーアで京記軍の大捷に歸した

此日試合場 は釜山側の聲援團ばかりで京城軍は全く寂しかつたが本社の二流の大旗と京城からの聲援隊とだけであつた、試合を終つたのは午後三時半それより遠征の京記軍は南濱芳千閣に到り休憩して午後五時から釜山記者團主催の慰勞宴に臨み心盡しの饗應を受けて一同交歡午後十一時釜山發列車で恙なく歸城した

當日の審判 は吉原弟球審吉岡兄設塁審であつた試合場には主なる釜山官民の顔が並んでゐた佐々木長官、坂田商業會議所議員、小林三井支店長西村野球監督芥川釜山日報社長三島一平氏水野瓦電監査役吉成少佐等は最後迄も熱心に見入つて居た。猶當日京城よりは

激勵の祝電 が記者團に與へられたが夫れは兒島中將前田大佐綱屋局長、三島殖銀、美濃部鮮銀、木本京電、松崎組所、久保局長、大垣京通、萩谷朝新、加藤本社長、瀨戸潔氏、安井日本麥酒、內田則治氏、以

金剛山見物記 (四)

遠く瀑布を見て居る天崖君 いつ迄も〳〵見つめてゐる

いよ〳〵頂上を極むべく行く事五六丁、後頭の案內人の天崖君と案內人を呼び出し先頭に、記者はさして緩々攀ぢる、二十分過ぎ、三十分と漸々進む、暫く休んで、又歩を辿る、スタ〳〵と案內人が先に立つて步を進む後れ勝ちな記者は息が切れて耐らない、今一人の案內人を招いて手にした鐵鎖に縋り倚つて天崖君の消息が經つても、杳として分らない、僕も、少々心配になるのでオイ〳〵と呼べば、岩の上から手拭を振つて居る、急いで共に登つて行くと前後左右の岩にぶつかり、絶頂の右の山に渡つて、吾乍ら間惚れる程だが、肝腎の御本尊からは何の應答もない

更に休憩二十分、三本目の煙草が灰になつた頃、哀れにも天崖君、泣面をして疲憊なヒョロ〳〵させ乍ら遣つて來る、聞けば路を踏迷つたさうで、京都を通つて、何々通り上ル下ル、の表示がない、深山は全く以て同情に値する、京都猿下の廢疎に漸くやつとたどり着いて、氷と冷たき岩滴水を飲む、案內師コップの銀が水氣でサツト變化するのに感心して、

頂上は豫想通りの壯觀、前面の遙か彼方は毘盧峯を見通して、天に聳ゆる岩峰、見返れば半空に雲湧き立ち、眼下の絕景に見惚れて居る、運悪く風の日に登つたらヰツ飛ばされる所であらうと思ひ、足は頭に、頭は足に、連續して上つ頂より仰げば、青空な背景にクツキリと白皚の岸壁を浮き出して、恰も前に白波を立てる如き奇觀を呈し、一ツと吹出したくなる

り(緒雄)

同情の涙

四日夕刊紙上に『哀れな母子』と題して京城本町伊藤組仲子山崎順三妻はる(三〇)が夫に死に別れ八歳を頭に三人の子供を抱へ途方に暮れ居る由記載したるに對し六日朝土砂降りの豪雨を冒して一名の下士本社龍山出張所に來り『自分は步兵第七十八聯隊の軍曹なるがあの記事を見て同情に絕えず幸ひ給料の餘りあれば、聊かながら山崎母子に贈呈したきに付き然る可く手續を願ひ度し』と金五圓を托して辭去せるが姓名を尋ぬれど新聞に出されては困るとて堅く秘したり不自由勝の兵營にあり而も其の多からざる給料より五圓を割いて贈るが如きは是れこそ全くの同情の涙なるべく床かしき下士の心情を思へば一味の凉風身邊に湧く思あり尙ほ本紙の記事により同女に對して金品を惠與したる特志家の氏名左の如し

金一圓也 黃金町二丁目 千葉氏
金一圓也 大和町 木村 菓子店
金一圓也 旭町 某氏
金二十圓也 明治町 本村 麪類
金一圓也 麪類 古老 代
金外に食料 本町 村山商會
金十圓也 明治町 岡本 木村
金五十圓也 明治町 女中 太郎
金八圓也 本町 旅館 一介石 同

七夕

七日は七夕である。古來年、織女の兩星が今宵天河に於て一年一回の逢瀨を遂げると云ひ傳へられてゐる、牽牛星は所謂る彥星で八河中の鷲星座附近にある三つの星である、此の星が牛を率いて織女星の許に到るといふ支那の古傳說に據つたものである。織女は恒星、天琴座中光度の最も大なるもので一等星である。徳川氏の頃には五節句の中に數へられてゐて、兒女が庭また屋根の上或ひは物干し杯へ笹を立て色紙に和歌を認めたるものを多数に結び付けて祝つたものである。近頃又た此の優美な習慣が女學校杯で行はれると云ふ事である。

本能寺婦人會 市內本町四丁目本能寺布敎所にては七日午後一時より本能寺婦人會定期會開催如山師の法話ありたり

充分の便宜

を與へられし滿鐵の厚誼と釜山軍の充分な御手配とに對して謝意を表す次第である尚軍の陣容左の如し

投 加藤(一) 一 二 三 遊 右 中 左 補
捕 柳井 上山 山 子 良 谷
北村 宮川 石森 岩崎 中西 小野 坂崎 菊田 林
投 加 一 二 三 遊 右 中 左 補
井上 吳 山 森 老 奈 谷 藤 瀨

平野 球監督、龍山京電、洋傘商、三井物產京倶の佐々木、山口氏千代本女將、其他の嬢連などで記者團の氣焰は益々揚り大いに揚がつた儘此行

演藝案內

本町一丁目 有樂館 喜樂館 電話九七番 ◯◯◯ 旅行中の不思議 ◯◯ 信州循環の ◯ 米國ヴ社特作品

◎二人情劇 汝の罪 全五卷 ◯松之助劇 ◯今回佛國より注文に依り世界的に認められたる日本映畫の權威大阪毎日連載 水戶黃門漫遊記 全九篇十八卷の內七卷上場 我國の明媚なる山水を背景として忠孝節義と武士道を以て扶植せる大映畫にて共撮影數百名の出演にかゝれる大作品にて五萬呎に近き本映畫を我喜樂館にて特に封切 毎月一日十五日土曜日晝夜開館

御待かねの 浪花三友派 落語一行 諸藝大會 餘興種々 當七月七日より 浪花館

千里眼實驗大會 京城本町壽座 電話五七八 七月七日八日兩日間午後正七時開會 發起者 三田光一 主催 ▲地球の生命 ▲物體透視實驗 ▲遠隔透視實驗 ▲大正十三年四年間に渡る世界創始以來の大戰爭 ▲一戰爭の動機と交戰國名 ▲一始めて生ずる結局と日本の立場 ▲自覺の義務と日支親善 ▲催眠術及び念寫實驗 日本活動寫眞會社代理店

七八七日三 大正館 當七月六日より特別大興行料金普通 大寫劇 大阪名所見物 長尺 滑稽 曲藝道化 ◯◯劇 夜の匹 姉妹篇 世界的連續冒險劇 七眞珠 第五六篇 何者かに盜まれた七個の眞珠と一個の不思議の運命を以て出沒する高空より救ひ助ける美姬イルマハリー等共に隊落しさる悲惨の爲地下の牢獄に投ぜらる其運命や如何

◎人情劇 輝く路 全五卷 六年前殺人罪を犯した男が巧に變名して地方人の望ある紳士となりし其の犯罪に寄るに罪人の子が生れ 好男子の青年が偵探の母の知る事となる 毎月一日十五日頃より晝夜二回開演

雨中の二日目 六時五十分既に 滿員 人氣湧くが如き 水戶黃門漫遊記 雨中落員の爲大混雜を來し不行屆平に御容赦被下度候 本町 喜樂館

京城明治町 電話二六〇 浪花館 當る七月七日午後六時より開演 納涼興行諸藝大會 ▲落語 笑福亭 ▲輕口 笑話 ▲落語 社中 ▲筑前琵琶 橘旭 ▲落語 富尾家 ▲浪花節 笑福 ▲落語 橘家 ▲義太夫 豐竹 ▲相撲甚句 絹川 ▲落語 桂 ▲餘興 茶番劇 樂 危劍術

育兒必要 保壽圓 小兒良藥 疳と虫氣を治し 効能 夜なき、氣みじか 物おそれ 癡あせ、氣ふさぎ 乳あまし 大べんあをく 又通ぜず ききぐ熱で 腹くだり 色あをじろく 手足やせ たべものすゝみ 又進まず かべ土せんこを 好むなぞ 小兒の諸病に 最良劑

(價 拾錢、廿錢、五拾錢、壹圓) 大阪市堂島元緞橋 本舖 高橋盛大堂本店 發賣 同 心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店 同 東京市神田柳町 高橋盛大堂出張所 ◉到る處の藥店にて販賣す

ウサギ印 商標注意

逸咲きの條約局

條約局が廢撤されたので目下細かい規定を選定中ださうであるが條約局の管掌事務は條約の下に各三名宛の書記官を置き渉外法規事項に關する事務を掌るものである。事務員には課長が誤解して居るが條約取調局なるものがあつても新設局でない

前附參事官として赴任したので其後は阿部文務局長が兼任し居た、爾來山本內閣に至り行政監理の結果、政務、通商の兩局に分轄されて今日に至つた然るに新時代に適合する爲めに外務

共に所管事務は二分し其性質上一部は政務局に一部は通商局

連絡船上客

五日下關上陸一二等客氏名左の如し

一等(拾名) 細田淸次郎、同專、田宮原恒平、惠良睦雄、中鳴往三、今村明範、鈴木與三右衛門、中村俊藏、川畑信夫、渡邊源興、矢倉木太郎、吉田正雄、中原けさ、

本社特別割引料金 京城 大阪 水戶 錢 ◎ 十錢 割引料金 廿五錢 京城日報

大正 七日 自午前八時 ▼京城氣溫(攝氏) 晴一時曇 最高 最低 地方 ... 六月十九日 仁川 釜山 日出 午前五時十九分 日入 午後七時五十分

新たに增設　局內は三課に分かち

今回外務省に新に條約局を增設し第一課は總ての條約事項、第二課は…に要する人員は卅一名となる譯…されたが右に就いて某氏は曰く條約局は特殊の條約事項、第三課は…條約局は新設局のやうに…專任局長は現外務次官たる幣原氏が最後で幣原氏が米國大使…

條約取調局 の廢止さ…

…省では又も以前の如く條約局を增設して三局となし且つ多數の專任局員を配置されること…

（一等）奏任六名　松島鹿夫、中村巍、山下深志、稻富…、大島…、加藤…、千秋、山浦岩雄、神山只次郎、坂本…、井上…、岩本…外人一名

第五版

吉林近信

最近吉林を視察して來奉した某滿洲通を訪問して最近の狀況奈何と問へば（奉天）

兩督軍の軋轢

張孟兩督軍の軋轢は最早公然となつて來た結果吉林は非常に落付いて來た、それも軋轢が稍表面に現はれて來た當時はドウなる事かと隨分不安の念に驅られたものもあつたが、現今では却つて長春の方が殺氣立つて來てゐる、殊に長春では彼の巡閲使を支署孟督の軍隊がドウやらしたとかせぬとか又は孟督軍隊が出たり入つたりするので益々刺激が大きくなつた樣である

孟督軍の大決心

此の騷ぎが傳へられた當初には種々の臆測が流布されて居たが最近の樣子から見ると孟督の決心は確として拔くべからざるものがあるので部下の軍隊は萬一を慮かつて續々と伊通縣方面に出動し奉省との境界防備の任に就し其の士氣は甚だ旺盛である殊に吉林省住民の嚮背も孟督に傾いて居る樣子であるから張督とても決して此の際無謀な手出しは出來まいと思はれる、

例の政策紊亂說

手出しの出來ぬのは兩方共同樣だが此處で吉林の爲め尤も遺憾とする處は財政の窮乏紊亂の一事である、是れが整理裕福であつたならば兵を動かす事も左程困難事ではないが、其の紊亂の程度は到底お話にならぬとの事である、其の地の某氏に聞へば於て其の疵の深さが判然しないので是れ又手の付樣がないと云ふて居たのによつても推測が出來る譯である、

三億また四億

現在吉林官銀號が發行した吉林官帖なるものは幾許なるかと云ふに商務總會の調査によると四億と稱して官銀號に云はすれば三億と云うてる、が實際數をよくく調査して見ると七億だとか云ふから驚かざるを得ない是れが全然、正貨準備なしに發行し且通用してるから不思議と云ふ外はないのである

今の相場廿九帖

その札が當時二十九帖文が日本の金一圓と云ふ相場であつたが其の少し以前には三十五帖文にまで下落して居たのである、が昨年の或る時期までは四帖文と云ふ相場であつた是れも兌換の基礎がなく且時局の影響等で下落したのであらうが大體此樣な札が通用してるのが抑もの不思議であらねばならぬ

省議會は茶話會

の財政を整理せねばならぬと云ふので省議會が召集されたが要するに何等かの方法によりて外から借款を仰いで整理する外はない處で張孟兩督の確執が激しくなつて來たから此の時借款でも起さうものなら早速軍費に失敬されて仕舞ふ恐れがある、で省議會員の一部丈け出席し他は出席しない故、過半數に充たない爲に會議は開かれないで毎日議長等は茶話會でお茶を濁してる

平和に落著と見ば

其れでも會期が盡きれば延長させ出席者は給料も手當も頂戴すると共に愈兩督軍が戰爭はやらぬと見極めがついたら早速議會を開催して整理救濟の策を講ずべくチャーンと定つてるのである、其の方法も目下の處非常に迂遠な地の銅山や銀山やを擔保にする樣に噂せられてるが是れでは果して應ずるだらうか

寧ろ手近の擔保

と思はれる此まゝの推移は許されないで是非共借款をせねばならぬ其額も乃至三百萬と云ふ調子だから兎に角に毎年官銀號の損失が百五百萬を下る譯には行くまいで擔保物件も愈々借款の話が進んで來れば次第に手近な有利なものを選擇される事となるだらうと思はれる

日本の大陸政策

而して其の借款を持込まんとする處は何處かと云ふとドウ考へても日本らしい、のみならず孟張兩督の齟齬も大に近來動いて來た樣子である、で張孟兩督の軋轢は所から吉林財政の窮乏其他我が政に尤も關係深き東三省から蒙古にかけての各般の事項に對し極めて重大なる關係を有してるのである、此際一歩を踏み損じたならば帝國の大陸政策は根本から還へされねばならぬ此大切なる瀬戸に臨み政府の措置宜しきを得ると否とに拘らば國民は國民として相當の覺悟を持たねばならぬ、朝鮮として最近の調査によれば吉林を中心として附近に散在してる鮮人二千餘を算するとの事であるから是等鮮人を保護し且生活の安定を保たせしむる爲めには相當な考慮を要する事と思ふ、要するに吉林は單に吉會線が通ずると云ふ土地許りではない、大いに將來に向つて研究し諒解して居なければならぬ大切なる土地である特に邦人の注意を喚起したいのである云々と

第三回婦人見學團

八日擧行の筈でありました水源地見學は漢江增水の爲來る十三日（第二日曜日）に迄延期する事になりました

主催　京城日報社

吉林借款に就て　困難なるべし

吉林省の財政整理の爲め朝鮮銀行より借款を得たりとか或は借款交渉中なり杯と傳へられたる擔保物件も目下の塲合左程有利なるものにもあらざる由にて借款成立など・は內外共に有り得べからざる處なりと、殊に其の筋にては日本の金融機關に對し資金の融通其他に迄深く立入り嚴重に監督しつゝある狀態なれば支那現今の時局何れかに展開し來るにあらざれば一般資金は勿論其の他の借款問題等も成立するは困難なるべき見込みなり

兩督軍暗鬪の裏面（下）

幾多の掛引もあり暗中飛躍もあり　形勢コ、暫らくは混沌たらん

機を見るに敏なる張使は孟督軍の態度案外强硬なる模樣あると吉林有志者の晉京して孟氏留任運動に奔走し中央亦國事多端の際北滿の天地に銃火の閃くを憂ひ調停的態度に出で居る等甚だ面白からざる情勢あるを看取し一應的手段の不可なるを察し一時其後の運動を中止し置き嚢に長春巡閲使分署長を任命し分署開設の爲長春に派遣せる英順氏が元來吉林出の人にて張使の部下となり居る關係より同氏に內命して吉林に赴かしめ孟氏の諒解を求めて圓滿辭職に出づる樣說服せしめたるも孟氏は此等には耳を藉さざるのみか或は斯くの如き

策略を弄して

爲め來吉せるにはあらざるかと孟氏及び吉林軍の郁部を窺はん日夜數名の密偵を同氏の身邊に付き纏はしめ其一擧一動にも非常の注意を以て監視をなし一寸の隙をも與へざる爲め英順氏折角の努力も水泡に歸して何等功を奏せず遂に悶々の裡に使命を辱めたりとの一語を殘して悄然と歸奉の已むなきに至りしが左なきだに張使に對しては常に惡感を持たしつゝありし孟督軍は之れが爲め張使を憎惡するの念非常に熾烈となり高師張既に赴任して幕に參與し且亦一般より其の

態度の曖昧なる

點より疑心の焦點となり居たる長春鎭守使も永年孟督軍の部下として多大の庇護を受け居るすこして世上傳はる如き不德の態度を採るが如きは絕對に無きは勿論萬一奉吉兩軍に於て干戈を交へるに至らば不肖と雖も亦

ありと噂さるゝ程にて近くは去る二十九日三十日に渉り張天驥の混成旅步兵及揚全聲中佐の指揮する四混成旅步兵其他東清沿線駐屯部隊將卒合して二千數百名は附屬地、機關銃及び數十臺の馬車に積載せる軍需品と共に寬城子より隊伍を整へ

部隊旗を先登に

喇叭手鼓手の行進曲に合せて步武堂々長春付屬地を通過して城內に入り一部は南嶺其他に向ひ他は南門に宿營したるが其指揮者の一人なる某將校は今後の孟派の關係の如何によりて長春宿營の部隊は即時双陽縣及び伊通に派遣する筈なりと語りたるに徵しても此等軍移動には一面

何等かの意味

を含み居る事を知らるゝなり大和ホテル滯在中なりし扶餘縣權運局長兼吉林督軍署顧問張嵩齡氏は孟督軍の甥姪にして孟氏の勤務に就ては悉しき事情を知る人の由なるが同氏の言によれば目下表面は兩者の間圓滿に向ひつゝありと傳へられ亦其如く見受けらるゝも實は其反對にて孟督軍は飽迄張使に反感を抱きて各地方分駐の兵を集中して奉吉省界に迄りつゝあり萬一の際

要すべき武器

彈藥等も略準備整ひ居り且つ其補給に就ては既に某國某商人と內約纏り居り何等憂慮すべき點無きまで進捗し居れりと語り或は長春附近に於て城內宿營の吉林兵が頻りに馬車の徵發を行ひ居れりとの風說立ちつゝあると過般

私服單獨にて

奉天より哈爾賓方面に出張中去る一日長春を通過して奉天に歸れる東三省陸軍測量局長步兵上校（大佐）陳英氏の使命は東清沿線配備の吉林軍隊の動靜及び兵力査偵の爲めにて吉林方面へも密に廻りて孟督軍の動靜を窺ひたりと傳へられ居り各方面よりの情報を綜合するに

策略に富める

張使にして今更吉林軍と兵火を交ふるの愚をなさゞるは勿論孟督軍亦自ら好んで奉天軍に挑戰せざるは明かにて今後特殊の變動無き限り危機は去りたりとは云へ一方に於ては前記の如く一大暗流の漲り居る模樣なれば未だ一部傳ふる如き圓滿なる解決には至らざるもの、如し（長春）

形勢小康の模樣

ある近頃猶派遣部隊の集中を緩め居り現今にては却つて張使より孟氏が挑戰的態度に出でつゝ…硬を加へ

百卅圓の牛

咸北の特產牛

本年二月豎口疫の發生以來牛市場の開設及び斉牛の出入を一切禁止されたるを以て咸北唯一の牛移出指定地たる城津の牛移出は全く杜絕し當業者は何れも其の解禁の速かならん事を待ちつゝありしが愈々去る十九日牛市場停止解止の告示と共に其の禁を解かれたるに依り內鮮人の仲買人は俄に活動を開始せるか移出解禁後第一次の移出として二十六日出帆の立神丸にて六十六頭を敦賀へ向け送りたるが此の價格四千三百十四圓即ち一頭平均六十五圓餘に相當し中には百三十圓を唱へし牝牛もありたり之れを昨年に比するに約一割近くの高値なりと尙ほ引續き二十九日出港の平壤丸にても七十五頭を下關へ向け搬出せし筈なるが此の價格五千九百八十六圓なりと（清津）

江華島に公園

自然の遊園地

江華島在住內鮮人官民有志間に於ては過般來公園を設くる計畫ありしが愈々期熟し不日公園設立の會議を開催すべく寄々協議中なるが場所は公立小學校裏山にして同山は天然の公園地に適し何等の手數をも要せず且老松鬱蒼として又西南は眞帆片帆の海に浮かべる狀誠に絕景の地なり（江華）

商況

株式

東京現株（至急電報）

銘柄	▲印騰貴 株拂込	▲印下落 七日中値
鮮銀	一〇〇、〇〇	▲一九八、〇〇〇
同新	五〇、〇〇	一四九、〇〇〇
京電	二〇、〇〇	六一、五〇〇
東拓	五〇、〇〇	▲九二、〇〇〇
同新	一二、五〇	△四七、〇〇〇
殖銀	二〇、〇〇	△五二、〇〇〇

東京株式（至急電報）

銘柄	七日前場大引	前日比較
東株	三四〇、一〇〇	一、七〇〇高
同新	三三四、九〇〇	二、八〇〇高
滿鐵	一八九、〇〇〇	一、四〇〇高
一新	一五九、六〇〇	四、二〇〇高
二新	一二五、〇〇〇	五、〇〇〇高

大阪株式（至急電報）

銘柄	七日前場寄付	五日前止比較
大株	三五一、〇〇〇	三、五〇〇高
同新	三六三、九〇〇	三、九〇〇高
日郵	二九五、〇〇〇	三、〇〇〇高
同新	一四三、九〇〇	二、九〇〇高
商船	一九五、二〇〇	四、四〇〇高
同新	一四三、二〇〇	四、三〇〇高
鐘紡	三九七、〇〇〇	八、〇〇〇高
同新	三七六、一〇〇	六、一〇〇高
東紡	一八八、九〇〇	……
東糖	一八九、九〇〇	……
堂米	一六五、〇〇〇	……
上取	五一、〇〇〇	三〇〇高

京城現株（標準値段）

銘柄	▲印騰貴 拂込	▲印下落 時價
仁取	二五、〇〇	一五九、〇〇〇
殖銀	二〇、〇〇	五一、五〇〇
朝郵	二五、〇〇	四〇、〇〇〇
電興	一五、〇〇	一八、〇〇〇
皮革	一二、五〇	二七、〇〇〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇〇
朝紡	一二、五〇	二八、五〇〇
朝紙	二五、〇〇	六二、〇〇〇
商銀	二五、〇〇	三三、四〇〇
蒲毛	一二、五〇	二〇、五〇〇
鮮煙	二〇、〇〇	▲一二、五〇〇
仁倉	（權利）	

內地株好況

大阪株式は五日前場（後場臨休）に於いて小高く打出したるが果して休日明けの七日も一般に三五圓高に寄付きたり即ち前日引値に比すれば大株三圓五十錢高大新三圓九十錢高日郵三圓高新二圓九十錢高商船四圓四十錢高新四圓三十錢高鐘紡八圓高新六圓十錢高を示したり又東京株式も五日の大反落より持直したるもの如く東株一圓七十錢高新二圓八十錢高滿鐵一圓四十錢高第一新四圓二十錢高第二新五圓高となり現物も從つて好勢を示し鮮銀一圓高新保合東拓六圓高新五圓十錢高となれり

仁取持直さん

非常の人氣を以て勗騰を續けたる仁川取引所株も小口百六十二圓を最高値として頭打ちの狀となり爾後の利喰物が出したるが之が五十七八圓迄に利喰物が出たる問題の主任たる手數料引上げ問題の許可を得たれば今にも元氣付きんこしたる連中も俄かに利放さんの今一段の上押しを期待するに至りしもの、如く從つて茲三日…居据り狀態なりし同株も又復一と煥發を演ずるが如き氣配あり

櫻麥　白麥　挽割麥

京城岡崎町　福岡精麥所　電話長貳六四

仁倉買望殺到

仁川倉庫會社は殖銀との諒解ある上に築港埋立地の樞要部に土地の占有權を握れる如き最も樂觀材料とされつゝあり而も同埋立地は府廳、郵便局、警察等の官衙地區とされ…

株式風聞錄

京城現株市場も生れさうで仲々生れないが釘本さんなどは大分各方面に奔走を續けてる◆仁取が大變な景氣で昂騰した頃から京城現株市場の株を取で見た連中が買成株の終ひバカを見た◆釘本サンもヤルワ〳〵◆仁取の申込みをしたがこれには弱り切つてゐる◆之れも一タイ仁取は京城現株の事であるから…◆何故ならば仁取はフトコロのあたゝかい朝鮮人を主としてゐるけれども現株は在鮮三十萬の內地人對手である、鮮人は株式に餘り趣味を有たない◆

本日の商內株

日本石油百二十六圓にて二十五枚▲大阪商船第一新百四十九圓にて二十枚▲同第一新百五十圓にて五十枚▲日本毛織八十三圓にて三十枚▲東拓新四十一圓五十錢にて二十枚▲鐘紡新百三十六圓にて二十枚▲大阪窯業十九圓にて百枚▲王子製紙新六十一圓にて四百枚▲帝國麻糸三十一圓にて五十枚▲臺灣製糖百五十錢にて六百枚▲京城電氣六十一圓にて六十枚▲仁取百五十八圓より六十圓五十錢迄

利益配當を行ひ得べしとの論を俟たず若し日收入に於て優に年八朱の…ならば此收入に…

上海取引近況

市場開始匆々は取引用語問題仲買人の取引方法に關する未熟等より瀝明の成績を收むることは能はざりしが結局用語は英語に決し同時に仲買人等も取引に慣熟するに至り取引物件も公債株式の外綿糸を上場し市場次第に繁榮に向へる處過般のボイコットにて頓に氣勢を挫かるゝ事となりたれども其後ボイコットの熄むと共に支那人の取引盛況を呈するに至らん特に吾人の注意を惹きつゝある…

有價證券　賣買　京城本町二丁目　田中友吉商店　電話八一六番

請負仲買…として繁華の中心を爲さんとするものなるが民間銀行と同會社の二者あるのみにて其の事業の上に好影響を與ふる事砂からざるべしと觀測されて居れり之れが爲め權利の買望み筋は贊成株の事なれば未だ一向各店へ殺到する有樣なるも手持の少なき爲め之れに應ずる能はざる有樣あり爲めに容易に譲らざる模樣にて心苦しみつゝあるも プレミアムは急激の昂騰を告げ一昨休日前は六七圓に過ぎざりしが本日は一擧三四圓方の上唱へ十圓を附し十二圓五六十錢の高値買進みを見るに至れるが貧物極めて少なく八十枚許の商內を見たるのみなり

そこで本位に大變な差異がある（？）殊に仁川は取引所で京城現株は現株受渡しの公設機關であるそこに非常な差がある◆月とスッポン程の異ひはあるまいが少なくも月と星程のヘダテをつけてよい◆此頃地方から京城の確實な株式店を紙上に知らせよ、のはがきや手紙が來る、返信料封入のものは出來るだけ其の求めに應じてるがさうでないものゝ並に紙上發表の如きは到底出來ない相談であるから茲に一言斷はつておく◆仁川取引所株も手數料引上の確定で目先二三十圓の爆騰は必ず來るであらうと豫期してる連中が多い◆東株式通はやつてゐた、隨分二百圓出現は七月中旬との豫言上つた相場だから事實はどうであるか

米況

大阪期米特電

	當限寄付	中限寄付
七日前場	三十八圓十五錢	三十五圓五十錢

日後場

神戸期米特電

	七日前場
寄付	三四、六九
高値	……
安値	……
止め	……

下關期米特電

	七日前場
寄付	三四、八九
高値	……
安値	……
止め	……

仁川期米

七日前場

	當限	中限	先限
寄付	三毛、二九	三毛、二七	三毛、二五
高値	三毛、〇〇	三毛、〇〇	三毛、三〇
安値	三毛、八〇	三毛、八〇	三毛、三〇
止め	三毛、八八	三毛、八六	三毛、四〇

七日前場（寄高に反落）

今朝天候晴朗なりしも內地入電延著にて市場人氣は氣迷ひの立會ひ當限出來不申中三十八圓〇七錢強含み先限三十八圓五十七錢と寄付き先三十八圓〇五錢迄とり東京の高配に高始め先三十八圓〇五錢に買氣を刺戟して氣配に返し二等も一錢と返し二三錢と追し先十錢上より八錢迄伸び二錢保合に門の關係は開門を叩き九十錢に返し引し弱氣の挫氣は活躍し大阪の反落を移したるに付保合なり先二十八錢に一錢引◆中限二十錢より十六錢迄追し賣筋を捲合せて反落したるが中の中限とし九十錢上げ當九十錢迄三錢返し…

內地の安原因

山陽地方未曾有の出水を報じ居れるも休日明けの內地期米は各地の安報を移し而かも其原因が六項等渡米の準備完成と松井石井筋等の賣出動に起因し限先更に之等手筋の活躍を見んとする傾向あるが如く從つて出水地に於ける稻作上の被害程度は何等懸念すべきものなしといふを得べし

手數料引上認可

富取引所より申請中の手數料額及仲買口錢額變更の件は一昨五日附を以つて愈々其筋の認可ありたれば從來建米百石三圓の手數料を一圓五十錢引上げらるゝものなるが倍額に引上げられたる結果多額之が實行に付ては近かく重役會を開き決定さるべしと

七日前場　寄付　卅八圓〇七錢　高値　卅八圓十九錢　安値　卅七圓八十錢　止め　卅七圓八十錢

◇出來高　九萬三千九百石

◇公定値段

一節	二節	三節	四節	五節
卅八圓十錢	卅八圓十一錢	卅七圓八十八錢	卅七圓八十九錢	卅七圓八十八錢

帳入値段　三十七圓九十六錢

中出來高　八千六百五十石

中帳入値段　三十八圓二十六錢

市場雜觀

例年なれば九月限として四五十丁上鞘に發會するを至當とするに値頃の關係か理想の先走りか內地を始め當市場迄も二十丁下鞘に生れて自然鞘開きを演じて居る斯ふ人氣が偏傾となりてはる一段の押目は望まれまい中限は㋡全其他より有力なる正米筋が買据りて存外氣丈を操返して居るが中限に賣玉を有する弱氣筋は中限を買ひて先限に乘替商內を因店より演じて一層先限の不勢を示して居る强氣筋は飽迄買腰强く割安の先限に弗々手を延して安値を拾ひ居るものの如く地相場の不勢を示して幾分氣勢を挫かれた觀がある果して阪地…

京城正米市場

此數日來雨天の爲め市場の取引至極困散を示せしが今朝は天候の回復に弗々買物初め買入側は頗る深くり商談を進め居れるの…

仁川正米市場

仁川期米界は値頃や順氣に懸られて伸惱み安步調を示し當市場は內地法文の關係にも拘らず割高値を持續して居る…八圓五十錢見當を唱へ居るも不…

六四、五叺▲粉六、六五四俵▲小豆二、三四七叺▲大豆一六、八五叺▲大麥二、〇〇五叺▲小麥二、三〇叺▲荏子一、三五九叺▲胡麻三、二〇叺▲雜穀一、四〇叺▲糯一、一七叺

釜山正米市場

引續き強硬にて相場二十錢高の三等神力三十九圓四十錢所を唱へ三千八百許りの商內ありたり大豆持合六百叺の取引ありたり（七日釜山電話）

三品

大阪三品特電

七日前場　綿布三銘

七月限	十二月限
五七八、九〇	五〇八、一〇

綿布現物好調

粗布現物は品拂底と鑑定價格の引上げによる先物の採算上漸次之に買氣を注中し休日明けの今朝は內地電報未著にて氣迷ひから氣綿まりを呈し三二四圓五十二圓十六磅物三百九十五圓を唱へられ連れて傍觀中の先物も自然氣丈の成行を示し居れり商內として留いて賣物なき儘二十一圓三十錢を丈へ居れる自然居れり商內として依然品拂底…地方の需要期の年末先行の好况を見んとする商勢の向上と流行に近かく商勢の一…

限先出穀增加

五日以來の豪雨により地方局部の出水ありしと懸念され早かりし爲め一時稻作に取りては却つて水不足の地方を潤ほせしのみならず一般農作物の發育上好影響を與へたれば此の際持米は申分なく如何に高値と雖も持米は容易に賣氣を催ふし來ては今後漸次に雨後の變質恐れあるべく殊に雨後の變質恐れあるなからざるを以つて之等の處分買に當つて限先一時たりとも出穀の增加を見るに至るべし

白米は注文薄

白米は依然として持合ひ傾向みせず移出口としては大阪沖著の四十五圓八十錢見當迄注文入込む模樣なるも眼先原料の變動を懸念を前約注文筋みに此邊引受を躊躇せるものゝ如く一部に於て乘り三十八圓八十一錢にて若干元山積みの商談行はれたり

京城在庫穀物

六月末日の京城在庫穀物現在高左の通りにして之を同月中旬の在庫高に比較し其增減の主なるものを擧ぐれば玄米五千八百三十八叺、粟二千五百十六袋の增加に白米二千八百十七叺、籾二百叺の減少を示せり其內正米は前月中旬以降に於ける移入白米の激增せる外仁川筋の買附等にて一時在米減少を懸念せられしにも拘はらず玄白米を通算して却つて二千五百餘叺の增加を見るに至りしは一に河筋產地の出廻り增加によれるものなり

▲玄米五六、八四一叺▲白米一…

○三百番香水

贅澤で、經濟で、而して最も優良な

三百番香水（さんびやくばんかうすゐ）

各種均一　小壜入五拾錢　中壜入壹圓五拾錢　大壜入貳圓　內地以外は一割增

三百番香水は優雅な香と良い持間香を保つもので香は人によつて、嗜好を異にして居るから、六種の香を異にするものを製して、更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫である。香水は折角高價を…三百番香水は正味のみを目的…

ヴァイオレット（すみれ）
オリーズ（ばら）
リリー（ゆり）
ゲモット（花の名）
ムツサ（花の名）
ミー（花ばた）
ブーケ

つて求めても、其香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一個每に小壜の見本を添へてあるので、お嗜好に合ふものが選べる便利がある。一體普通香水は容器の體裁、飾る爲に餘計に高價なものになるのであるが、三百番香水は正味のみを目的として居るので、自然價格も無類の低廉なものになつてる。

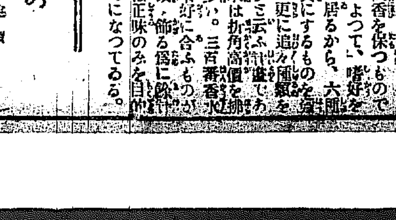
（現品縮寫圖）

體裁優美高尚にして理想的の

ミツワ石鹼容器（みつわ・しやぼんいれ）

定價　金貳拾五錢　內地以外は一割增

從來の石鹼容器は、大低金屬か陶器ですが、價格が高かつたり、構造が惡かつたりして、或は錆を生じ、或は水切がよくない爲に、石鹼が溶け崩れたりする缺點が多いのであります。此等の缺點を考へて完全に製造されたものはミツワ不鹼容器であります。陶器ではあるが、材質は極めて堅牢、構造は頗る優美、以上の缺點は毫末も無く、改良の品質を具備してゐるミツワ石鹼の容器としては最も理想的適當なものゝ、家庭用、浴室用として、極めて完全優秀なものであります



新案特許——純護謨製　大阪宗田商店謹製

○ミツワ水枕（みつわ・みづまくら）

凡ての家庭には必ず一個の水枕を備へざる可らず

定價　大形金壹圓貳拾錢　中形金壹圓　小形金八拾五錢　內地以外は一割增

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものです——學生が勉強して疲れた時など水枕を用ふれば恐ら元氣回復しませう——其水枕の中でも最も完全な水枕は◎ミツワ水枕であります。

◎ミツワ水枕は枕の內に割壁を設け中へ水を入れると自然に凹形になるやうに製してありますから、故に頭が高く中央が凹んで居りますから頭を冷す力が最も完全で、綺麗で、又多年御經驗の結果漸く案出したもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります

（大形縮寫圖）（特製縮寫圖）

相撲　鎭南浦興行中　京城日報社　後援

天氣豫報（七日午前六時）

高氣壓　小笠原近海上　七六二　日本海北部　七六〇

低氣壓　臺灣南道直隷北部　七五四

日出　午前五時…　日入　午後七時…

文士夫人の女髪結
晝はお師匠樣夜は奥樣

慶應義塾大學の敎授且つは文壇の明星として知られたる馬場孤蝶氏の夫人げん子さんが髪結に成つたこいふ事はまだ知人の間にさへさう知られて居ない事實だ永い年月を妻こして母こして安らけく置かれてあつた內氣な夫人にして

此職業に 依て立たるゝこいふ事は可なり婦人間に意味深い問題をもたらして居る、夫人は若い頃から人の髪を結ふ事が大好きであつた、今迄は三人の子女の爲めに煩雜な生活に浸つて居られたがもう足手纏ひの子等の煩ひから脫して以來

昔の好き な髪の事を思ふこ同時に自らの手に依つて金を得る嬉さを味はひたくなつた夫人が牛込の髪結學校の生徒こして通はれたのも眞實の職業に生きたい爲めであつた、免狀を手にした夫人は、やがて夫君孤蝶氏の許しを得て四谷區簞笥町に貸間を借りそこに『御婦人髪結げん』の

看板を下 げ朝の家事を了ふこ直ちに出張して全くの髪結さんの生活に浸る樣に成つた十三の時から使はれて居る女中が助手こして隨いて行く、晝はお師匠樣、夜に成るこ奥樣、女中は時々客の前でも『奥樣』を連發してしまふ、此ねいたの知れない出張髪結さんは

四邊近所 の不思議の種こなつた『始めな許りでお客の無い時に娘がお客に化て行つてしまひにばけの皮が現はれてね……』留守宅の孤蝶氏は煙草の煙を吐きながら極めて眞面目な態度で語られた『婦人の職業こいふ問題が大變考へられる樣になつた、同じ物を買ふにも

妻は自分 で買ふのでなく夫から貰つて買ふので心ある者はあきたらなく思ふかも知れない、家內などもそれで、もう子供の世話もいらなくなつたし何かしらこんな事柄を考へたらしい、私に相談した時も私は只自由を與へた、それに女中も何か

職業を覺 ねて置く事が大切だらうこ思つたのです、不幸にして髪結こいふ職業が餘り上等でない憾みはありますが、まあ行ける迄行つて見るのもよからうこ思ひます……マアあの邊は多く料理屋の女中おかみさん等銀杏返しや丸髷が多い樣ですおかしいのは時々先方から迎へにきて

不思議に 思ふらしい家は髪結の家にしては少し大きい樣だし旦那は髭があるが一體何者だらうこいふ疑問を起して居るさうです』かう云つて氏は又煙を香爐一杯に吐きちらした。

愛國心を一層鞏固ならしめよ
平和來る＝日本婦人の目醒むべき時

講和の調印が濟んで歐洲に新しい幾十の國家がバラ／＼こ新地圖を彩る事になつた此新地圖を眺めて深く眼醒むべきものが

我等婦人達にも 可成に多いのである東京女高師校長湯原元一氏は語る『平和が來た國際聯盟に依つて當分戰爭の慘禍は跡を止めぬであらう併し五大强國は勿論新興の多數國家は其國民の心に更に深く强い愛國心を誘起すべきである或國は此の

愛國心を旗て以 て結ばうこする又或る國も旗で以て民族向上の唯一の標識こするであらうが之を三千年來萬世一系の皇室を宗家こ仰ぐ日本國民に比して如何であらうか干戈は平和の時に不用のものであらうけれども國民の心の奥深く內在する愛國心は

世界的平和の來 た時に一層之れを鞏固ならしめねばならぬ之れこ同時に朝鮮、支那其の他の唇齒輔車の關係深き人々に對して更に親切な態度を持して行かねばならぬ兎もすれば大戰終熄平和來こ云ふので戰爭以來の好景氣に馴れて浮かれ氣味になり易いやうであるがこれは

特に警戒せねば ならない點かこ思はれる殊に我國婦人は歐米婦人こ違ひ是迄國難に處して眞劍になつた場合がない歐洲婦人の如きは四五十年目毎に著物髪飾までも拋つて國の爲めに盡して來てゐるのであるそして今度は實に

空前の努力を盡 して非常な働きを我々に迄も見せ付けた是等婦人の健氣な働きを實見した以上は今後自らの及ばぬ點に眼醒めて精神上にも亦生活上にも今一層質素强實な態度をこらなくてはならぬ、彼の漫遊外國婦人の心身保養などを眞似て浮か／＼するなごは以ての外の不心得である

北京畫界の現狀
今關天彭

北京現今の畫界は、大體より云はば衰微極まつて居るが、少壯有爲の士がその間に起りつゝあるのを忘れてはならぬ。即ち陳衡恪、賀履之、湯定之など云ふ新進作家がそれである。この外に猶多くあらうと思ふ。この三人は年齒共に四十三四で、前途の有望なる事は北京に於ける斯界の好事者に大變嘱目せられて居るので判る。陳衡恪君は字を師曾と曰ひ、別に朽道人と號し、南方屈指の詩人たる陳三立翁の長男であるから、無論詩文に秀で、また書法、篆刻に精しい。林長民君の談によれば、この人の繪が將來成就するこきは王石谷の上に出づるであらうこの事である。賀履之君は北京大學の敎授で、その著はした中國山水論はかなり評判が宜い。この人の得意は繪の評論にあるらしく、描くものは餘り感服せぬの、階境はナカナカ面白い。この湯定之君は湯雨生（貽汾）の孫に當る、この外に陳寶琛氏や林紓氏など老大家こして名高い。林氏は琴南こ號し、また畏廬こ號し外國小說の翻譯家こして、イナ現代文學界の耆宿こして支那人間に重望を負うて居るから、其繪が市價は近來めつきり高くなつた。現に北京の畫界は趙響伯が頭を擡げて居る。この人は江西の生れで槪ね河南の書風を學んで居る。また上海では李梅庵、曾農髯の二人が聞こえて居たが、近來梅庵の聲價落ちて曾が漸く揚つて來たやうだ。

（諧談）名刀傳　原稿未著の爲休載

呉服 京染 蒲團　中元贈答品御誂　さらぎ屋　京城本町三丁目三〇六八

牛乳　御用　朝鮮病院 ルテホ戌鮮　京城東四軒町　岡野牧場　電話一六〇九番

七月九日
（舊）六月十二日　水曜日　▲みづのえいぬ　八白暗剣見…東北▲大安▲参▲たひら

▼八白▲冷かに考ふべき日なり　▼九紫▲焦せるこ失敗し易き日　▼一白▲願つたり叶つたりの結構な日なれば慾に過ぎては不可　▼二黑▲親みのある懷つかしき日なり共同事業には有利ならん　▼三碧▲外面は不愉快な樣でも內實眞情の籠るべき實のある日　▼四綠▲心正しければ意外の幸運來るか又引立らるゝ日　▼五黃▲親和の日にして一日愉快に暮し得べく萬事に用ゐて吉　▼六白▲當てにならぬ事ある日　▼七赤▲思ふ樣に物の運ばれぬ日

専賣特許　ケイフ　一名ガラスふきん
在來の硝子ふきんの如く器具藥品を要せず手を汚す事なくやすくきれいに磨けいつ迄も使へる德用な便利なガラスふきんは又西洋食器なぞのあぶら氣を取るに最も妙なり是非一度御試しを乞ふ　見本一枚十八錢送料二錢
京城太平通り　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話長六〇〇番

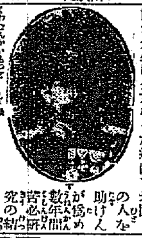
▲債券▼
大連債券株式會社　大連市西通二丁目二十二號地　電話長一五二四番　振替大連三二〇〇番
◎關東都督府認可　◎公債債券月賦販賣　◎勸業債券高價買入　◎營業案內無代進呈
▲債券▼

尼船崎汽船　仁川出帆
群山木浦下ノ關大阪行
△赤心丸　七月　日後四時出
△一心丸　七月　日後四時出
△神代丸　七月　日後四時出
△秀吉丸　七月　日後四時出
△君が代丸　七月　日後四時出
△大有丸　七月　日後四時出
○第一運輸丸　日後四時出
○印 二等船客御斷　△印 二等船客無
仁川海岸通二丁目（電話五九番）高杉回漕部

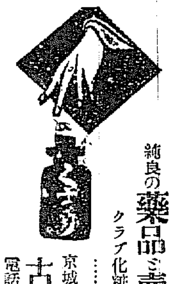
共同汽船　仁川出帆
阿波共同汽船株式會社
▲靑島大連行　第十一共同丸　七月八日午後入港　七月九日正午出帆
▲靑島直行　第十一共同丸　七月　日午前入港　七月　日午前出帆
▲秦皇島行　第六共同丸　七月　日午後入港　第十三共同丸　七月　日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡送御取扱大連にて靑島行定期船接續荷客共通輸送
仁川代理店　本町四丁目電話一七三番　野口商會
元山代理店　春日町電話二四七番　田口回漕部
京城取次店　南大門通電二七六〇、八二二　河村運送店

人から嫌はれる　わきが
◎根本的なほせ
一度ひ深い人は死ぬ迄なほらぬ化學的療法無代進呈　藥學界に名聲ある陸軍一等藥劑官尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助けんが爲め數年間苦心研究の結果今回最も進步したる『チゼン液』と云ふ不思議にヨクキク責任ある藥を創見致しました是迄無責任な一寸素人ダマシの賣藥にて効無くお困りの人は彼是と迷はず一日も早く東京府下大久保町西大久保五十一東京愛藥院宛にハガキで申込めば新療法の本を無代で上ます

◎不思議になほる
あざ ほくろ いぼ ソバカス しみ
捺印付人から笑はれる今迄は如何なる藥學界にも名聲ある陸軍一等藥劑官尾博士先生が數年間苦心研究の結果決して害なく不思議にヨクキク特効藥を發見致しました是迄種々無責任な賣藥で治療しても効無くお困りの人も彼此迷はず一日も早く三錢切手封入『東京府大久保町西大久保五十一東京愛藥院宛申込は確實安全秘密に治療法の本を無代進呈



產科 婦人科　二宮醫院　京城壽町　電話二二〇一番　醫學士 二宮亮吉


純良の藥品ご賣藥が揃つて居ます　クラブ化粧品代理店ですから……卸値が安いです……
京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番　振替七三七番

眼科専門　金井眼科醫院　京城若草町（新道路中程）　電一五五六　新築落成　入院隨意　日曜祭日午前中

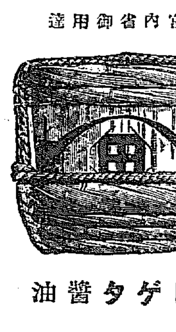
優等清酒

福岡縣三井郡山川村　造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話三三九　振替口座四三三九

內科 小兒科　入院隨意　隔離病室　普通病室　京城旭町一丁目（電話六九二番）　小林病院
院長 醫學士 小林千壽　副院長 愛知醫專士 日向野理助　永登浦分院長 醫師 久保廣次

醫療器械 化學藥品 藥種賣藥卸商　Ⓚ　北島藥店　仁川本町　電話三三四・振替京城六七番　北島藥店京城支店　京城本町永樂町角　電話七六一番

田中丸病院　京城西小門町二二地番　院長 醫學士 田中丸治平　副院長 醫師 上野和夫　【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり　電話八八五番

宮內省御用達　千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造

ヒゲタ醬油
代理店　京城明治町二丁目　發賣元　櫻正宗 山邑京城支店　電話長八四九番・四五四番　振替貯金口座京城七五番

痔疾專門　京城明治町二丁目（本町より入る中央）　京城久枝肛門病院　電話二一〇二番

處女の時に注意せれば美貌も長く續かぬ

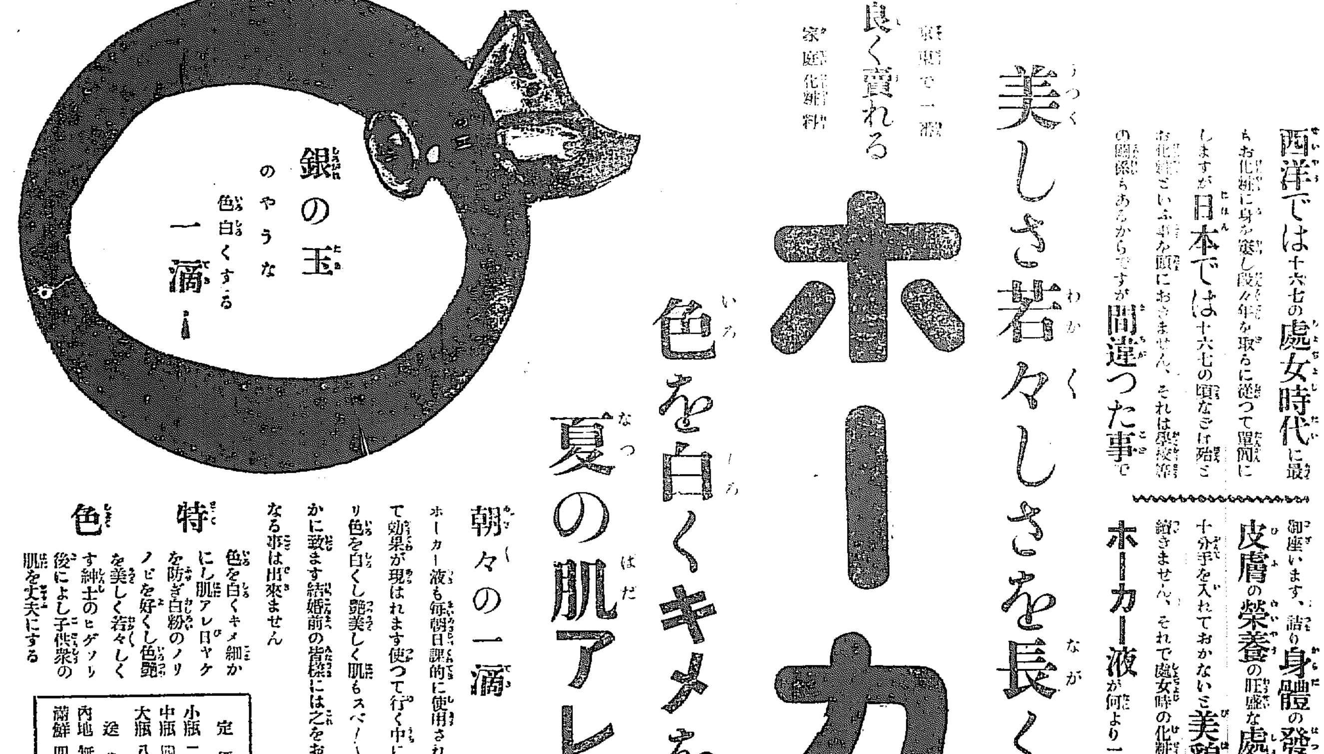
西洋では十六七の處女時代に最もお化粧に身を窶し段々年を取るに從つて單簡にしますが日本では十六七の頃など殆ど御化粧こいふ事を顧におきません、それは學校等の關係もあるからですが間違つた事で御座います。詰り身體の發育のいゝ皮膚の榮養の旺盛な處女時代に十分手を入れておかないと美貌も長く續きません、それで處女時の化粧料としてはホーカー液が何より一番であり升

美しさ若々しさを長くもつ

京都で一番　良く賣れる　家庭化粧料

ホーカー液

色を白くキメを細かに　夏の肌アレ日ヤケを防ぐ



朝々の一滴
ホーカー液も毎朝日課的に使用されて初めて効果が現はれます使つて行く中にホンノリ色を白くし艶美しく肌もスベ／＼と滑らかに致ます結婚前の皆樣には之をお忘れになる事は出來ません

特色
色を白くキメ細かにし肌アレ日ヤケを防ぎ白粉のノリノビを好くし色艶を美しく若々しくす紳士のヒゲソリ後によし子供衆の肌を丈夫にする

定價	
小瓶	二十錢
中瓶	四十錢
大瓶	八十錢
送費	
內地	無料
滿鮮	四十錢

◇處女時の白粉には
學理實地の兩試驗に合格した純白無鉛最も衞生的に出來て居る
新發見白さの異ふ
ホーカー白粉
これが一番安全で御座います

◇信用ある全國到る處の小間物化粧品店洋品店藥品店等に販賣す、若し品切れの際は振替か切手にて本舗直接御注文を乞ふ

ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカースキート　ホーカー美髪
東京神田和泉橋際　本舗　堀越嘉太郎商店
電話 神田 特一四三、長一四四、一四五　振替口座東京一五六

第五版

京城日報

（年中無休刊）
本紙定價　一部金五錢　一箇月金七十五錢　[illegible]
廣告料　[illegible]
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
印刷人　小川三之助
電話番號長六千九百一番　振替京城三〇二番

……下ぐる事となりしが晝時東西毛で固守せず場合に依りては[illegible]價格を低廉にし陸軍省の希[illegible]高價に[illegible]日本毛織共[illegible]を見るに至るべしと云へり

[illegible]後右兩會社合同の[illegible]三丁目[illegible]永萬藏(三)の五名は去月三十日午後二時頃達城郡[illegible]水保護規則違犯に依り何れも科料十圓に處せられたり（大邱）

京城日報　僞れる支那の輿論

支那が講和條約に調印せず、好みて平和の仲間外れと爲りたるは、北京政府の意に戻り、委員獨自の專斷に出でたるの事、昨今全く明瞭と爲れり。北京政府の當惑、氣の毒の至りなりと[illegible]し得ざるの事情は[illegible]くべからず。此際吾人の頗る奇妙不可思議とする所は、支那の輿論(?)なるものゝ正體なりとす。何人も知る如く山東問題に對し、支那の主張の容れられざる講和條約には、斷じて調印すべからずとは學生團及び國民大會等の名に依りて、盛んに唱へられたる所にして、或は政府を脅威し、或は講和委員を要請し、手段百方至らざる所なかりき。在巴里の王顧等が、政府の命令に乖き、總ひまゝに不調印を宣言したるも要するに此俗論を好個の後勁と信じて、之に迎合せんとするの意に出でたることは疑ふべくもあらず。即ち支那の立場よりいへば、講和條約の不調印は、利害休戚の關係を外にして、其の國民の輿論が貫徹せられたる譯にして、彼等は宜しく一大白を浮べ盛んに慶賀の意を表し、更に進みて一層大なる聲援運動を起すべき筈なるに、意外にも息を呑み、聲を潛め、寂然として屏息しつゝあるは、抑も何のためぞ。始めは脫兎の如く、終は處女の如しとは彼の邦に行る、古き諺なるが處女の沙汰などは一通に通り越して、全然幽靈の立消の姿なるこそ笑止千萬なれ。つらく支那の實際を察するに、彼の不調印を唱へたる輩も、其の藥の餘りに利き過ぎたるに慄然たるの趣あり。彼の徒の不調印說を主張したるは、しかく唱ふるとの如何にも愛國者らしく、志士らしきに自惚れ、無我夢中に騷ぎ廻りたるのみにして、中心より講和條約調印を非認せんと說明したるにあらず。彼等は寧ろ講和條約の必然調印せらるべきを信じ、故さらに之に反對したりといふを以て、其の眞の情僞を得たるものと爲すべきなり。支那の所謂輿論なるものは、此の如き迂餘曲折せる情僞を含むものにして、今更ながら其の懸引の餘りに大なるに呆れざるを得ず。若夫れ其の言辭其の文字を眞正直に受け取るあらば、我亦天下の至愚者たらんのみ。支那の調印拒絕につき、外交上受くる所の不利の甚だ大なるは、支那の識者間にも既に認むる所なるが、單に山東問題に就てのみ之を見るも、青島還附の約束は當然無効に歸し、我邦の自由處分を爲し得ること、獨たるは誠に我が在巴里委員の言明する所の如し。若し我邦にして隣交を重んぜず、實地惡を逞[illegible]に出でしめば、支那は永久[illegible]を回收するの期なきに至るやも知るべからず。即ち支那は自己の縄を以て自己の首を縊るの狀態に陷りたるものにして、拙だ以て馬鹿々々しき次第なれば如何に氣運び來たる運動者も、迄には少々靜かざるを得ざるべし。又不調印に對し助言を與へたる某國（支那委員の言明せる）の如きも實は其跡始末に困るとなるべし。是にては如何に常軌を逸するを常とするの國民とはいへ、まさかに不調印祝賀大會をも開き得ざるべく、其の立懷みの態に在ら、亦止むを得ざるなるべし。吾人は熟地惡く支那をいぢむるを欲せず、依然として隣誼を維持せんことを努むべきも、將來支那の所謂輿論なるものに對しては多大の斟酌を爲すの必要あるを感ぜざる能はず。而も是れ支那國民の自ら取る所にして斷じて他を尤め且つ怨むを許さず。想ふに列國も亦吾人と同様の感想を抱き居るならん。是のみにても支那が將來受くる所の不利、蓋し莫大なり。慎むべきは戰國策士流の技巧なるかな。

圖畫教育と國民的藝術（三）

岡田秀氏講演

吾々の平生用ゐる器は米國に産するガス、プラと稱する材料を日本に輸入しなるべく支那品らしく加工して賣出されて居る。即ち材料[illegible]から云ふとべ[illegible]そ日本のもので器は却つて西洋のものである。次に日本趣味と云ふことを論ずる人がある。併し其の日本趣味も時代に依つて變化して居る、奈良朝時代の日本趣味、藤原時代の日本趣味、足利時代の日本趣味夫れ〲皆違ふ。現今の日本趣味と德川時代の日本趣味も違つて居る、だから在來の趣味を何處迄も守らなければならぬと云ふ理由はない。尤も古いものを尊重愛護することは人間の通有性であつて、私も廣重の描いた東海道五十三次抔に對して非常の趣味を持つて居る。けれども如何に趣味があるからと云つても是れからの人をも此の型の中に入れて仕舞ふと云ふことは出來ない。高麗時代の工藝品に趣味があるからと云つて今日の人が其通りのものを作ることは不可能である。時代が進ふ、時代に依つて趣味も進步し流行も變遷する。要は唯夫を不健全なるものにしない様に注意すれば宜いのである。

趣味は時代と共に代つて行く、夫れ故在來の日本畫の流派を飽く迄細派して行かなければ日本の國民性が壞れると云ふ様に來たり心配したりするのも是れ亦非常な間違ひである。如何なる流派が來ても夫を引き受けて日本化し常に新しく日本の國民的藝術を建設して行くのでなくてはならぬ。新しいものが來たが爲めに壞れる樣な國民性は些つとも尊重するに足らぬ國民性である。茲で一寸流派と云ふことに就いて考へて見ると、或る一つの流派を生ずると云ふことは其時代の一人がさう云う描き方をして總ての人が夫れに到達し易いと云ふとが重要なる一つの條件になる。應擧と云ふ人が圓山派を作つたとすれば應擧に澤山の弟子があつてさうして應擧の創作した所の流派は多數の人が學び易く其境地に到達し易いものであつたから圓山派を生ずるに至つたと云ふことが出來る。然るに茲に非常に傑出した一人の美術家があつて誰も是れに隨伴して行くとが出來なかつたならば其の傑出したる美術家は流派を作ることは出來ない。從つて流派を開いた人が必ずしも傑出した人とは云はれない。奈破翁や豐太閤は其時代に於ける最も傑出した人物の如くに思はれるが彼等が餘りに傑出して居たならば彼れ程の大事業は出來ないので彼等は其の時代の最も偉大なる凡人であつたと云ふ方が適當かも知れない。流派の中にも說明的なのと說明的でない即ち印象的なのとがある一つの畫を描いたとしても夫が餘りに印象的で普通人が見て、一寸解することが出來ない樣な畫、夫れから西洋にも後期印象派と云ふのがある。印象的の繪は餘りに主觀的であるから教育上の圖畫には一寸用ひ難いが趣味の上からは使つても差閊へない。要するに圖畫教育は繪畫の物を教へると云ふことが目的ではないのである。抑も圖畫を教育の科目に加へることは何うして始まつたかと云ふと是れは英國の富國策から起つたものである。英國のヴィクトリヤ女皇の時代に倫敦に於て世界博覽會が開催せられた、[illegible]萬國博覽會が開催せられたゞけであるが當時の英國の工藝品は何れの國よりも著しく遜色があつた。此の點に氣が付いたのが皇婿アルバート親王で、是れは英國に取つては實に憂ふべきことである、此の儘放任して置いたならば英國は經濟上大打擊を受けなければならぬ。と云つて今直に何うすることも出來ぬ、依て今後は國民に少年時代から美術工藝思想を注入して英國の工藝を向上せしめようと云ふ大方針を立ててこゝに英國に於て學校の教科の中に圖畫の一科目を加へることになつたのである。

金剛山スケッチ（四）　鳴淵潭　古賀詁雄

萬二千の靈峰形相の奇怪、破跡の酷々たる狀は是を外金剛に求め渓谷の奔流、潭となり淵となつて玲瓏碧玉の如き美は是を内金剛の幽谷に賞するを得。萬瀑の不渓、黄泉の支流と長安寺に合して鳴淵の清流とな

る即ち右すれば水簾洞上轟瀑の音を聽き左すれば鳴淵潭流滌々の樂を耳にす深淵架するに危橋を以てし其險を補ふ橋上流底の轟石を錄して眼を對岸の巖壁にうつせば碧水反照して楓樹の青きと競ふ

錬膽錄

三笑生

大愚和尚

◇大愚和尚は、德川初期の高僧である。元和の初め、江戸の諸士相謀つて、南泉寺を建て、其の頃は、まだ若かつた大愚和尚を請うて住持とした。

◇或る日、一人の老婆が、嬰兒を喪うて、和尚の許に來て引導を請うた。和尚は、式の如く引導を渡して、葬禮を行つてやつた。やがて老婆は『御陰樣で、嬰兒の葬式が濟みました。お慈悲誠に有難ふございます。が、今日結構な御引導を下さつて、一體あの兒は、何處に往くのでございますか』と問ふた。

◇此問には、和尚もグッと詰まつて仕舞つた。すると老婆は、『ハテサテ心許ないことぢや、折角引導をして貰つたが、彼の兒はほんとに浮かばれることであらうか』と痛哭して歸つた。和尚は、ひどく感愧した。『自分は既に道に於て得たと思つてゐたのに、一人の老婆に問はれて、落處を知らないとは情ないことである、こんなことで一寺の住持として、如何して壇信徒の化導が出來よう』と、直ちに寺を棄て、行脚修行に出かけたのである。

◇大丈夫世に處し、事に當つては、將に大愚和尚の如き、高潔の心肝を持して出處進退を公明正大にすべきである。

各種硝子　小野玻璃器製造所
京城林町百六十一番地　電話二七九一番
鮮工場製品は品質本位として朝鮮原料より製造せしものにて價格最も低廉なり

登録商標　御旅行には必ず當店の鞄を

定價表進呈郵券二錢要す
東京市芝區見町　內田靴鞄商店
電話新一五九一　振替一八七一七

宮內省御用
水道布設　煖房裝置　衛生設備　諸機械　唧筒据付　工事設計請負　附屬諸材料　直輸入　製作販賣
TRADEMARK
須賀商會大連出張所
大連市監部通二丁目（露亞銀行前）
（本店）大阪（支店）東京（出張所）名古屋・京都・住吉・神戸・多摩・京城・青島・北京
工作所　東京……大阪……神戸

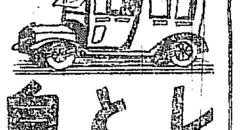
改造

勞働問題批判
▽勞働非貨物主義（熱烈火の如き筆を揮ふ）……福田博士
▽八時間勞働制……安部磯雄　▽政的問題……
▽社會乎……河上博士　▽溫情主義……桑田博士
▽勞働運動を何う導く可き乎……法學士河田嗣郎
特種部落物語　涙の物語……河内銀二郎
生存慾としての變態と文藝……白柳秀湖
參謀本部と陸軍省の葛藤
勞働問題社會主義批判號
勞働委員は誰か……河田博士、山川均氏他
借家人の悲哀……生方敏郎
どん底の人々……ジヤツク・ロンドン　堺枯川譯
小說　戰に行く前……武者小路實篤
小說　先に行つた友達……小川未明
小說　愛國者……上司小劍
悲喜劇　職業紹介所……中村吉藏
小說　母の立場……岩野泡鳴
社會主義批判
▽マルクス批評觀……堺枯川　▽マルクス的社會主義……
▽社會主義の歸結……阿部秀助　▽社會は不健全……田中博士
▽社會主義の致命的缺陷……戸田博士　▽社會主義の長短……杉森
▽唯心的唯物史觀の意義……賀川豐彦　▽報恩主義……田中
本號に限り　金五拾五錢　振替東京二四六一〇　改造社

黎明會講演集　第五輯

虛僞のデモクラシーより眞正のデモクラシーへ　法學博士福田德三
山東問題　法學博士吉野作造
文軍備と文化　法學博士渡邊鐵藏
十七條　法學博士牧野英一
大鐙閣

魚釣具　投網　卸賣
小京城永樂町貳丁目　吉備商會
電話三壹四番　振替京四三八番


レールと自動車
輸出入商　榮洋行
京城永樂町二丁目

最新書式大全　京城日報社編纂
菊版クロース製美本九百頁◆定價金貳圓郵稅二十七錢
本書は最新の朝鮮書式大全にして各種關係法規に依り、民事、商事、刑事、交通、通信、財政、農業、特許、意匠、商標、實用新案、恩給年金、警察、學事の十部に分類し各部又一々關係法規を摘錄し一切の書式を網羅して餘さず各階級を通じて必携缺ぐ可からざる良書なり
發行所　京城太平通　京城日報社代理部　振替京城三百番
取次販賣所　大阪屋　巖松堂　日韓書房

芳醇　米國ナイアガラ釀造會社（元詰）
ナイアガラ　ウヰスキー

（輸入元）釜山大倉町　ミトヤ商店

刑事專門　辯護士　本木房吉
京城府黃金町三丁目二十番地（大阪ドラッグ東側小路入ル）
電話長二四一三番

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual. Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して榮養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の壽を迎へしむべき滋養强壯料

◎ミツワ規那鐵葡萄酒（みつわ・きなてつぶどうしゅ）

定價一壜金壹圓七拾錢（內地以外は關税運賃を加ふ）

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絕

本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所醸製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那鐵を配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に變敗する憂ひなく、規那鐵及葡萄酒の興奮、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香、美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、血、下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患殊にヒステリー、ヒポコンデリー、產後の衰弱並に一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

▼如斯人は强壯料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を適用ふべし▲

一、食餌の進まぬ病人
一、病氣の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱い人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色が悪く肉痩せ活潑ならぬ人
一、胃腸衰弱の人
一、腦の貧血に罹つて居る人
一、頭が重く物忘れし易く常に疲勞の人
一、肺結核、腦結核、肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で殊の外衰弱して居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、ヒステリー症に罹り血の道に侵されて居る人
一、ヒポコンデリー症に悩まされて居る人

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.

Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の强壯を圖り尚新活力を賦與し得べき模範强壯料

◎ミツワ人參葡萄酒（みつわ・にんじんぶどうしゅ）

定價一壜金壹圓八拾錢（內地以外は關税運賃を加ふ）

風味高潔清和滋養豐富
元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絕なる人參を、周到の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして澄爽、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも適し、元氣を增進せしめ、精神の不愉並に筋骨の疲勞を除き、尚健者に於ては榮養の佳良並に身體の强壯を致し、力を賦與する上に於いて他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度嗜めば水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、腦力を增したい人
一、身體を强壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を願ふ人
一、病苦や不快な感覺を忘れたい人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、榮養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の發育が遲れて居る人
一、貧血して居る人
一、顏の色着め顏の艶の無い人
一、手足や腰腹が冷えて困る人
一、些細の事まで氣に掛けて悲しい事も無いに泣いたり憂鬱に沈んだりして他に逆ふ人

佛對米英新協約

獨逸の侵略と佛國擁護

米佛兩國間に協定されたる新協約は講和條約が佛國の緊急擁護に不充分なるに鑑み協定されたるものにて米國は獨逸側の挑發に係る侵略の如何なる行爲に於ても之れ有る場合は直に佛國を擁護すべき事を協定せり尚佛國は英國とも同様の條約を結びたるが右條約に於ては國際植民地議會の[illegible]條約に規定されある如き場合に於ても國際植民地議會の協贊を得る迄英國植民地を拘束するものに非ずと(巴里電報)

伊要求問題協議

クレマンソー、バルフオーア、チウトニーの三氏は伊國の要求問題に付協議せり(巴里電報)

前獨帝監禁か

前獨帝は倫敦塔に監禁されんとデーリーメール紙に報道せり(巴里電報)

備考 倫敦塔はテームス河に臨み、西紀八百八十五年頃、ノルマン人の侵入に際し、アルフレッド大王の建てたる牙城にして、一部の小獄は古來牢獄に用ひられ、史上の好記念物なり。

英講和委員歸國

皇帝を始め多數の歡迎

英國首相ロイド、ジョージ氏以下其他講和委員は六月廿九日倫敦に到着し、ビクトリア停車場にて英國皇帝、皇太子、閣員其他多數の出迎を受けたり一行到着に際し皇帝は首相夫人を助けつゝ待合室を出て歡迎せられたり尚一行は皇帝並に皇太子に隨行し沿道夥しき群衆の喝采を受けつゝバッキンガム宮殿に赴き在る事二十分にして退出し夫れより外務省に赴きたるが群衆熾んに歡呼し首相の演説を要求したるより首相は之れに應じ一場の演説を試みたり(倫敦電報)

反革命軍の捷利

北部獨逸地方は反革命黨の勢力旺盛にして諸都市を占領せり(倫敦電報)

占領島財務統一

シドニー淸水總領事發=開戰早々濠洲遠征軍を派遣して南太平洋に於ける獨領諸島を占領し在島獨逸官憲等の投降協定により獨逸住民は軍政の下に永住し繼續することを許されたるより自然の趨勢上物產の仕向及び供給品の仕入先は何れも濠洲に關することゝなり戰時に於ては同市爲替金融取扱は獨逸人會社の經營する所なりしも占領後これ等財務を統一するため濠洲各地銀行の支店をラバウルに設置し總ての銀行事業を統轄し濠洲通貨を以て獨逸紙幣及び銀貨に變らしめたりしが今後銀行は投資取扱又は營業上何等の故障を生ずるものなしと(東京特電)

對獨宣戰取消延期

七日北京政府は閣議にて講和委員の報告に基き調印拒絕の次第を大總統令又は布告にて發表する事對獨宣戰取消は暫らく延期し現狀の儘にて當分推移する事等を決議せり(北京電報)

孟督軍北京轉任

後任は黑龍江督軍鮑貴卿氏

孟督軍は北京に轉任の旨六日夜發表されたり其後任には黑龍江督軍鮑貴卿氏任命され鮑督軍の後任には第廿七師長孫烈臣氏任命されたため隨つて從來同師長代理たりし張作相氏は當然廿七師長に陞任す可く豫想さる(奉天特電)

排斥問題一段落

孟女婿高中將の動靜注目

總統か干戈を交へんとせし張督孟排斥問題も遂に孟督軍の北京轉任により兩氏の妥協成り平靜裡に解決を見たるものと推せらるゝも孟氏の女婿高士儐中將今後の動靜は大いに注目に値す可しと(奉天特電)

國際勞働調査

[illegible]國際勞働會議編成中にて目下各省とも[illegible]人の人選には種々なる說あるも[illegible]政府には大臣級の人物を以て之に[illegible]

外交團提議拒絕決議

北京外交團は新借款團は經濟的に支那を滅亡せしむるものなりとの理由にて外交團の提議を拒絕す可しとの決議案を可決せり(北京電報)

廣東省長兼任か

廣東省長問題は李根源氏就任すべき筈なりしも各方面の反對[illegible]からず莫督軍の兼任たらんことを希望する者多くに依り督軍莫榮新氏は近く省長を兼任するに至るべしとの報香港駐劄の中央政府委員李鴻昌氏より政府に到着せり(北京電報)

對露大借款問題

神野大藏次官の談に曰く在巴里講和委員の間に對露大借款協議中なりとの報道あるも未だ當局には達せざるを以てその眞僞は明かならざれども右は西伯利借款の誤報にはあらざるか同鐵道は荒廢し列車は劣惡にして輸送力頗る薄弱なり爲めに貨物の停滯甚だしきを以て之が改善のため至急四五千萬圓の借款を以て鐵道の修理完備を圖り輸送力の充實を協議中なるが四國借款問題其の他のため遲延せるも必ず成立を見るに至るべし(東京電報)

總統病む

徐總統は目下病氣引籠中なるが又離職說傳へられつゝあり(北京電報)

東宮御見學

長野縣下に御見學中の皇太子殿下には七日午前六時五十分御旅館御出門雨中廳民奉送裡に御發車同八時上田御着蠶業學校其他を御參觀あらせられたる後同十時上田御發車還路の途に就かせられたり

還啓

長野縣下に御見學中なりし東宮殿下には七日午後四時上野驛著還啓あらせられたり(東京特電)

明石總督良好

一時危篤なりし明石臺灣總督は六日夜より體溫少しく下降し同復の模樣あり多少愁眉を開きたるも尚警戒中なりと(東京特電)

米大使オ市行

米國大使モーリス氏は七日午後七時半東京驛發敦賀より浦鹽經由オムスクに向ひたり(東京特電)

條約局長

七日左記の通り發令ありたり(東京特電)

正五位勳四等前伊國大使館參事官 松田道一

任外務省條約局長(二等)

補充上等兵 釜山著

七日軍御用船須磨丸釜山に入港し朝鮮憲兵隊に補充す可上等兵十三名を輸送し來れり(釜山特電)

物價趨勢

漸騰繼續か

歐洲戰亂の及ぼしたる各國經濟界の大變動中世界を通じて一樣に感じたる一大現象は物價の昂騰なりき歐洲交戰國の如きこれに苦しみ食糧其他の必需品に對しては政府が管理其他の方法を講じたるのみか甚だしきに至りては價格制限てふ極端なる方策を決行せしに拘らず尚物價騰貴の趨勢は之れを抑止するに由なく物價は昂騰に昂騰を重ねたるが其後昨秋十一月の休戰條約成立を動機として戰後財界の過渡的反動作用に因りて漸次步調を辿りつゝありしも客月來一時難色ありし講和會議が最早其懸念の要なきに至れるより物價は所謂平和昂越によつて再び前記漸落の趨勢を瞬に一變するに至れり將來尚此の步調を繼續すべきや否や即ち平和來と物價に就き各專門家の所見を聞くに

正米 近時農家は生絲高其他によりて資力大いに豐富にし一齊に買惜みの念强きま・安値は絕對に應ぜざるに對して更に這般の講和成立によりて彼の敵國側に對して相當食料を供給せざるべからざればこれが循環的の影響によりて一時的の高低は別として大勢は益々高からん趨勢にあるも併し政府の米價調節策が將來如何なる程度に迄及ぶやは知れざれど一般國民生活上至大の關係を有するものなる丈け政府は相當調節の實を擧げんとするは想像に難からざれば結局差したる高値は望み難し

綿絲 六百圓てふ珍高値を現はしたるに拘らず尚且これが需要衰へず內地在荷の如き日に減退の色あるに徵すれば遠きは知らず近き將來に於ては到底低落は望み難きも併し乍ら餘りの高價なる處よりこれが輸出は既に前月來減少を來しつゝある由なれば最早これ以上の高値はこれなきもの、如きも何分內地に於ける紡織關係が織機が紡機に比し甚だしき懸隔ある由なれば結局無い物高の相場ならんされど綿絲の騰落は平和來によりて左右さるゝ事なく殊に我國より英米兩國へ注文をせし紡機の到來實現に由りて左右さるゝならん

生絲 所謂强氣筋の理想値たる二千圓を實現して間もなく更に三千圓說を唱ふるものすら現はれつゝある生絲市場が更にこれ以上の昂騰を爲すや疑はしく假令平和來と共に海外市場より纏りたる需要に接せんも是は既に見越されたる所にて既定の事實なれば之れが爲め市價に別段の變動あるとも思はれず且又二千[illegible]と云はざるべからざれば前記海外市場よりの需要は少くとも疑問とせざるべからずこれを除外して考ふる時は最早此邊絕頂にあらざるなきか

砂糖 講和成立後と雖も歐洲甜菜糖栽培地たる露、獨、墺、佛共に戰前狀態に回復するに至る迄には耕地の整理に少からぬ日子を要するのみか製糖能力も勞働不足にて充分ならざるを以て昨年歐洲ビート產額は三百七十五萬噸の大減少を豫想され印度二百三十萬噸瓜哇百三十萬噸玖馬三百三十萬噸內地及び臺灣糖四百三十萬噸と何れも世界的に產額減少豫想の折柄一方消費側にありては戰時中は食物管理、消費節約、輸入制限等の政策にて消費を阻止し居たるも海上危險歐洲行き船舶拂底にて價は比較的一般物價に比して安價にありし丈平和來により買進まるゝは理數の當然なれば[illegible]糖價は將來益々絕高からんと

石炭 戰亂中運賃高の影響にて他の物價に比して異數の暴騰をなしたる石炭は運賃が其時に比し昨今多少反撥せしとは言へ未だ二分一に足らざる狀なるに對して依然堅調を呈しつゝあるは實に意外とせざる處なるも何分勞銀其他の關係にて生產費高きに鑑して供給の不足なる爲に所謂現狀維持をなしたるものなるが之に對して或る弱氣は這般の講和成立を轉機として彼の世界第二の石炭國たる獨國の南洋其他の方面に對する石炭輸出說を傳へて少くとも我國石炭市價は局面を一變するの止むなきに至らんとの觀測をなせるに對し某强氣筋は獨國の石炭輸出は全然無根なるのみか同國は彼の八時間勞働問題の影響にて大いに生產能率を減殺されそれがために最近米國より五十萬噸の石炭買約をなしたりと硬化しつゝあれば炭價の前途は容易に見定め難きも結局は來る八九月の交の需要期に入らざる中は保ち合の外なからんと(門司)

上半 手形交換二億

本年の總計は五億圓に達せん

本年上半期に於る京城手形交換高は二億二千客七十餘萬圓に達し之を前期乃ち七年下半期並に前年同期に比するに左の如き激增を示し居れり

期別	交換高
七年上半	[illegible]
七年下半	[illegible]
八年上半	[illegible]

乃ち前年同期に比し一億二千萬圓の躍進を示し居れるはいかに物價の騰貴と財界の繁忙が京城の金融界に活氣を與へ取引の增嵩を來し居るかを知るに足るべし今各月の交換枚數並に交換高を示せば左の如し

月	枚數	月	枚數
一月	[illegible]	五月	[illegible]
二月	[illegible]	六月	[illegible]
三月	[illegible]	合計	[illegible]
四月	[illegible]		

乃ち一月は大節季の尻を受けて相當に交換枚數を擧げ二月は舊正月閑散時に就き枚數激減し三月は騷擾事件にて必ずしも取組高多からず四月以降は六萬六千枚より八千枚臺を示し漸增し居れり

交換金額	圓
一月	[illegible]
二月	[illegible]
三月	[illegible]
四月	[illegible]
五月	[illegible]
六月	[illegible]
合計	[illegible]

次に一日平均の交換枚數並に交換金額を見れば左の如し

期別	枚數	金額
七年上半	[illegible]	[illegible]
七年下半	[illegible]	[illegible]
八年上半	[illegible]	[illegible]

總交換高の增加せる如く一日平均も亦躍進し物價の騰貴がいかに商取引を膨脹せしめたるかは手形の一枚平均額を見て知し得る乃ち八年上半の一枚平均は五百六十七圓八十八錢なるが前年下半は四百十圓十四錢にして前年同季は三百二十一圓[illegible]十六錢に過ぎざると尚此の狀勢を以て推移せば本年の手形交換高は五億圓に達すべしと觀測さる

京畿蠶繭販賣

又昔百五十六圓七十錢

京畿道にては五日午後一時より揚州郡に於て蠶繭共同販賣を執行し道より松永道長官、小賀野[illegible]等臨席したるが繭の出廻り意外に多く四百石に上り開札の結果上繭は全部東亞蠶絲會社の手を經て高知製絲會社に落札し屑繭は朝鮮製絲に落札せり其價格左の如し

六圓七十錢一等百四十五圓五十錢二等百三十五圓六十錢三等百二十八圓▲交配白繭特等百四十九圓[illegible]三十錢一等百四十圓十錢二等百三十五圓五十錢三等百二十五圓[illegible]▲交配黃繭特等百四十圓[illegible]錢一等百四十圓十錢二等百三十圓五十錢三等百十三圓

又六日坡州郡に於ても執行したるが出廻り百餘石に達し左の價額にて東亞蠶絲會社、[illegible]及び尾澤組等に落札せり

又昔一等百四十圓二等百三十八圓二十錢三等百三十二圓二十錢▲交配白繭一等百二十八圓二十錢二等百二十三圓七十錢三等百十五圓六十錢▲交配黃繭 平均百五十圓

株式後場崩落

日銀利上氣構

大阪株式は五月引けより七日前場寄付にかけ頗る優勢なりしが後場に至り忽ち大崩落を演じたり、即ち前場寄値と比較すれば大株十六圓安鐘紡二十三圓九十錢安郵船七圓十錢安商船五圓五十錢安鐘紡十四圓安常米四圓九十錢安となるが斯くる原因につき新田商店入電に[illegible]一般は大口の下落を來し[illegible]れば日銀利上げの噂を傳へらると同時に買氣も挫かれたるもの[illegible]通貨膨脹して諸物價は大騰[illegible]調節の一端として日銀利子を引上げ通貨收縮策を講ずるは有り得べき事にして或は事實ならんかと云ふ

仁川期米

◆七日後場(盛返し保合)前場の入電に[illegible]るが大阪後場寄の存外伸惱みに當限三十八圓二十四錢中三十五圓七十九錢先三十四圓七十九錢[illegible]中限は弗店の買物に二十五錢と延し四圓臺は好く買進む入電に押へしも七錢と返したるが弗店も[illegible]したれば形勢不[illegible]に好く買はせなし込まして取組の增加と相俟つて[illegible]

銘柄	七日後場止	前日比較
大株	三三五、〇〇	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
東糖	一八五、〇〇	四、九〇安
常米	[illegible]	[illegible]
上取	一六四、五〇	五〇安

◇出來高 中八百石 先六萬五千三百石 [illegible]

◇取組高 [illegible]

取引所手數料

値上許可

十四日後場より實施

仁川米豆取引所に於ては豫て賣買手數料の値上げ許可申請中なりしが愈々七月五日附を以て許可の指令に接したるを以て來る十四日後場即ち十五日以降に對して之が實施を爲すべしと而して改定率は從來[illegible]米百石に付手數料[illegible]三圓を[illegible]客筋よりは三圓を徵收するものなるは勿論なり

仁取手數料

引上の時期如何 某重役談

仁川取引所手數料引上は許可は夕刊所報の如きがその實施期に就て某重役は語る手數料引上げと云ふ事は取引所ばかりでなく仲買人を通じ客方に重大な利害關係が有するので今日許可されたからとて直ちに明日から改正すると云ふ譯には行かぬ現に八月限や九月限(今月までの)分は百石三圓と云ふ契約で賣買が行はれてゐるのである然し十月限たる八月の新甫から引上げるか今後の新取組より實施して行くか要するに此の二つの中の一をとる譯だが前者とすれば最も適當であるけれど尚小一月の日數を要し假令現行の儘で進らねばならぬから必ずしも有利でないと云つて九月限の新取組より實行するとせば計算が大變複雜となつて來るのである之等のことは來る十日までに開かる重役會議で決定する事と思ふ從つて當分は從來の手數料で賣買が出來ると見てよからう引上げ實行までには役員會で周知[illegible]

京管局大工場

新設誤報

京城管理局にては近く北部に一大工場を新設するべしとの報あるも確聞する處に依れば龍山分工場として機關車修繕工場設置の議あるも京管局にては未だ何等決定せずと

豪雨と稻作

六日迄連續せし豪雨は稻作に出水被害ありしも稻作には殆んど問題とする程の惡影響なく反つて干旱には一部挿秧し難き地方ありしも潤雨に會して植附を了し昨今の植附狀態は殆ど稀有と稱し得る程に良好なりと

帝國製艦能力

海軍補充計畫と水陸設備の增加

(承前)

造船工移動 以上は水陸設備の概略なるものの概略にして加藤海相が議會に於て說明せる[illegible]八八の計畫を[illegible]國の造艦能力は[illegible]に至るべきを以て殘るは唯[illegible]設備のみにして[illegible]上船臺等の關係により[illegible]に來り材料も戰後は輸入可能なるべく且つ海軍補充計畫の遂行上の不足は休戰後漸次舊に復したるも造船工の不十分は倚ほ依然たるもの[illegible]我海軍の製艦能力は頗る微弱なるものあり且つ又從來は外國に仰げる艦艇材料機械類にして戰時中輸入不可能となりたるものあり艦艇の起工も遲延するに至つて造中の艦艇は概ね工事遲延し造船工を有するも能率に大なる差ありて造船工移動の爲めに[illegible]

當局の計畫 我海軍にては九年度に於て大正十二年度迄に不完全ながら八八艦隊完成の計畫を樹て十年度より漸次勢力の補充を爲し大正十四年度に至り完全なる八八艦隊を建成したる大正十二年度よりは更に八八の上に勢力を增加するの政策を執るべきが計畫の遂行上直接の關係ある造艦設備即ち水陸設備も八八建成に必要なる程度に擴張するの計畫にて艦政に當り凡そ左の如き設備費を豫定額に追加計上したり

一、呉、橫須賀兩工廠に於ける船臺の新設(造艦船臺)擴張(艤裝)
二、呉、橫須賀其他各軍港の船渠の增設(入渠)延長等
三、呉造機部にて潛水艦機械製作設備レンズ製造設備航空機製作設備
四、呉製鋼部の擴張設備
五、造兵砲熕部の設備擴張
六、呉、橫須賀防備隊の擴張設備

總額一億數千萬圓に達し九年度より十二年度迄に支出するものなり右計畫か全部大藏省の認むる所となるや否は尚ほ今後の問題なるが右設備費が成立せば八八計畫を實施し得べき製艦能力を備ふる事となるものにて海軍當局は補充計畫と相俟つて右能力設備の計畫を成立せしむべく努力すべしと(完=東京)

廿師團長歸朝

目下南鮮地方部隊檢閱中なる淨法寺二十師團長一行は十二日夜歸城の豫定なり

鑛業會の張宴

朝鮮鑛業會にては川崎新理事長歡迎の爲め牧山副會頭の斡旋にて第四十一議會に於ける議員諸君勞並に鑛業家の歡迎を目的として七日夕花月に於て宴を張りたるが出席者四十餘名淨田氏の挨拶に次で牧山氏の[illegible]辭あり歡を盡して散會せり

鳥瞰錄

六日朝來城した山田陸軍少將と龍山旅團長內野少將は同じ鄕里福岡縣の出身で幼年學校からの同窓▲山田君は工兵科に內野君は步兵科に志したが互に雁行して[illegible]今の地位を贏ち得た▲今月末互に中將に前進するは云ふ迄もない▲されば二人の交は他の見る目も濃まやかで今回も山田少將が來城すると報せがあつて以來內野君は指折數へて待つてゐたが生憎山田君が來る其日師團長の隨時檢閱に立ち會ふべく大田に出張しなければならなくなつたので人に託して是非朝飯を一緒に食たいと申込むと山田君喜ぶまい事か山田君が龍山驛に着くと內野君は折柄の土砂降りをも厭はず驛に出迎へて『ヤアー』『ヤアー』と互に堅い握手を交へるなり暫く無言の儘双方顏を瞶めて如何にも嬉しさう▲朝食の招待會は鳥渡趣が無いが武人の交はりは此う々と鳴つたであらう膳に添へた茄子の紫にも濃い情が忍ばれる▲其の山田少將龍山は鬼門ですと云ふ理由如何と聞けば二十七八年戰役には龍山に滯陣する事一個月而し激烈な赤痢に罹つて死ぬ程の目に遭ひ▲去る四十二年通過の時には列車中で下痢症に罹つて列車中に醫師を呼ぶやら大騷ぎをしたからださうな▲龍山は何時迄も山田君には祟らない內野少將と朝食を共にした味は旅愁を慰めて餘りあつた事を龍山は忘れまいぞ

連絡船上陸客

七日 [illegible]

眼病良藥 直治水 懸賞語呂合發表

語呂合題 「スグ効ク目藥直治水」

去五月募集の眼病良藥直治水懸賞語呂合は非常なる歡迎を博し數萬通の應募數に達しました以來選者の手により嚴密なる審査の結果左之通當選確定致しましたから茲に發表と同時に各位の甚大なる御贊援を深く感謝致します。

香川蓬洲、田中芳哉兩宗匠共選

▼一等當選(一名)賞金五拾圓
臺北小南門街三丁目二番戶 西良啓氏
祝日照る富士旭日旗

▼二等當選(二名)賞金拾圓宛
靜岡市馬場町寺野方 尾崎三郎氏
涼しく出る湯に氷賣
島根縣仁多郡馬木村尋常高等小學校 青木賢三郎氏
風流手蔓に職に就き

▼三等當選(五名)賞金五圓宛
新潟縣七日町 原磯吉氏
古椅子全部に押す印
東京四谷荒木町 青山翠葉氏
苦しむ稼組取る神籤
東京本鄉西片町 腦眼健治氏
供奉員先驅に勅使着き
大阪市外天下茶屋 內藤雪三郎氏
苦しく癖るにお湯に行き
大阪北區梅田町 深尾曉六氏
鑑干ぬ扇子に寄る深雪

▼四等當選(卅名)賞金壹圓宛

四等賞金及選外佳作百名の當選者は當品發表を以て當選の證と致候間御承知を乞ふ
當選句表彰入用の方は往復ハガキにて御申込あれば郵送す
全案の佳句は先着者を採りたり
懸賞に關する照會は往復はがきにて大阪市關屋町堀り三丁目 丹平商會懸賞係宛

三大特長
■眼科高貴藥を配伍す
■タッタ一滴て効驗著はる
■根本的に視力を强くす

良藥 眼病 直治水 CHOKUJISUI

主效 トラホーム□はやり目□やに目□うみ目□のぼせ目□かすみ目□星目□ただれ目□ち目□眼病諸症に偉効有

▶新式點眼器付 金十錢 金二十錢◀ 全國各藥店にあり

本舖 大阪 東京 丹平商會藥房

化學工業藥品
分析藥品器械
工業用酸類
製革用藥品
鑛山用藥品

合名會社 島久商店出張所
京城明治町二丁目 電話長四四四番

イケダ小兒內科病院 池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(病院二二三四番 自宅二一〇〇番)

模範牛乳 東京牛乳[illegible] 大正牧場

ニウソ 石鹼 洗粉

洋鐵鋼材料 バルブ工具品類 鑛山用品 一般工業用品

瓦斯管 カナエパッキング會社代理店 京城南大門通一丁目 合資會社南方商會 電話 振替

名刺 京城太平町 電話 振替

京日案內 普通一回前金七十錢[illegible]

迎聘 [illegible]

小使募集 內地人 [illegible]

集金外交員 [illegible]

土地家屋賣却 [illegible]

男女事務員 [illegible]

活字製造販賣 竹內活版製造所 京城明治町 電話[illegible]

貧血しんぞう 吉木釀造場 仁川

外務員招聘 [illegible]

社員高給招聘 [illegible]

製紙工場及附屬器具賣却 [illegible]

岐阜提灯 本場製品 [illegible]

帳場入用 [illegible]

君の [illegible]

島崎病院 [illegible]

…如く喧ぶるものあるも之れは實が伴はず…無視にして當局は速かにそれ…而して米國華盛頓に開かる…擺價を希望し居るも何分明年度…べき國際勞働大會に出席すべき

罹災民の炊出し＝龍山憲兵分隊にて

小學生體育問題（一）

大に體育を振興せよ

家庭と學校と協力して

關屋學務局長談

本社が提議された小學生の體育に就いての問題は現下當面の緊要事である徴兵檢査とか其他 **各種の統計** を見ると 國民一般の體質が劣弱になつて行くやの傾きが見へるから此際是非とも體育の普及を期して健全な國民を育成する事は最も緊要である然らば小學生の體質を向上發展せしむる方法如何と云ふに先づ其學校職員が熱心に體育振興を心がけ自らも熱心に體操遊戯を行ひ體育振興の範を示し又父兄や社會一般も之を指導し聲援して校の内外を問はず健全なる **國民の育成** を企圖せねばならぬ。扨て體育の必要なる事は今更喋々する迄もなく一般が會得してゐるが之を普及するには一般が體育に興味と理解とを持つ事が一番必要であらう、即ち體育と云へば體操もあり遊戯もあり競技もあり遠足等もあるが悉べて此等に興味を持たす事である私は平和克復後の大事業として體育の振興を擧げるに躊躇しないのである小學生の **體育が必要** である事は明瞭に小學令にも示してある『小學校の體育は德育智育と軒輊あるべからず』とある位であるから當局者として充分其點には考慮を費してゐる次第である。過般京城府内の各小學校で父兄や校長が相談の上體育振興の目的で體操器具の寄附を行つた所が其結果は頗る良好であつた將來も斯の如く **學校と父兄** とが相應じて體育振興を計つて欲しいが又體育を奬勵するとなると下駄履の體操などは到底駄目で服裝も色々整へる必要があるので從つて其費用等の點で父兄に迷惑がかゝる憂がある此費用なども廣く一般父兄が負擔するとなると又問題が起るであらう恐らく體育振興の大方針は略研究も了つてゐて既に其 **實行の時期** であるから詳細の實行方法に就いては猶研究し最も理想的な方法を定めて實行したい今や全鮮一般に運動熱が勃興し體育振興の新機運に向ひつゝある今日であるから更に社會一般の輿論を喚起し家庭と學校と與に相應じて小學生の體育振興を期し以て第二の有爲健全なる國民を育成する事に努めねばならぬ繰返し云ふが小學生の體育振興は平和克復後の **今日に適用** する最も大切な一大問題であるから一層の努力と研究とを以て偉大な實績を擧げなければならぬと思ふ

大阪株式前場（至急電報）

同鐘紡	三八三、〇〇	一四〇、〇〇安	三六〇、〇〇
同新	三六三、九〇	一二〇、〇〇安	三五九、〇〇
京紡	一七一、一〇	一七〇、八〇安	三五〇、九〇

金子爵等の公判

七日午前九時より開廷

檢事金李兩子爵に對し懲役二年を求刑

判決言渡は來る十一日午前

京城府願賢洞十一番地經學院大提學正四位勳一等子爵金允植（八五）同洞十三番地中樞院顧問兼經學院副提學正四位子爵李容稙（六七）同洞下一番地朝鮮貴族專修學校生徒從五位金麒壽（三二）私立普成法律商業專門學校生徒金裕聞（二）同三清洞百十五番地無職從七位李建台（五〇）の五氏に對する保安法違反事件は七日午前九時より京城地方法院第一號法廷に於て田中裁判長河村檢事平田書記係りにて鄭求昌、李祖遠兩被告辯護人出頭尾田通譯にて開廷せられたり被告金允植子は白髮痩軀の老人にて金麒壽、金裕聞の兩被告人に助けられつゝ他の被告と共に入廷するや **裁判長開廷** を宣し直ちに審問を開始せられたるが裁判長は犯罪事實に付き一々急所を突込み被告の色を失はしめたり斯くて審問は正午に至りて終了し午後零時五十分一先づ休憩し午後同一時五十分再び開廷と共に河村檢事立つて被告等の **犯罪事實は** 檢事局並に當法廷に於て述べたるに徴しても明かにして而も被告等に於ても充分認め居れる處なり去れば情状酌量すべき點毫もなく保安法第七條に照し處斷すべき者にて金允植、李容稙兩名を懲役二年に金麒壽、金裕聞、李建台の三名を各同一年六月に處せられ度し尤も金、李兩子爵は **老齢なれば** 懲役せしむるに忍びず依て五年間刑の執行猶豫が至當なりと求刑し鄭、李兩辯護人の辯論の後田中裁判長は十一日午前九時判決言渡すべき旨宣し同三時廿分閉廷したるが傍聽席は被告家族等にて滿員されたり

毒瓦斯の試驗

分縣玖珠郡日出生臺に於て施行する毒瓦斯放射第一回試驗演習は三日午後一時より始せるが期間は七日間にて一般官公吏演習參觀希望者には陸軍より防毒覆面を貸與し參觀を許可せり試驗は空氣量千分の一毒瓦斯を發散犬猫鼠馬などの動物の試驗をもなせり

貨車十七臺逆行

四臺は顚覆粉碎一臺は脫線

顚覆車の爲め制動手一名慘死

門司鐵道管理局に達せし報告によれば四日午後三時門司管理局鹿兒島本線熊本驛を發車したる上り貨物列車は三十臺を連結し同九時過ぎ鳥栖田代兩驛を通過し更に基山信號所を過ぎて五六十間の箇所に來り同所が九十分の一の上り勾配なれば徐々進行中同列車の後部より十七臺目の貨車連結ドローバ切斷し十七臺の貨車は急速力を以て逆行し田代驛の避難線を突破し **四臺は顚覆粉碎し一臺は脫線** し且つ此時同所にて就業中の制動手安永忠太郎同寛治兩人は顚覆貨車に **挾まれて重傷** を負ひ間もなく死亡したり此の事件の爲鹿兒島本線は上下とも閉塞し應急復舊工事の結果五日午前五時開通したるが四日午後十時二十五分門司驛發鹿兒島行夜行旅客列車は原田驛に停車し開通を待ちて鹿兒島へ向ひたり因に斯の如き事件は昨年來折尾附近遠賀川及び筑豐線に起りしのみにて今回の事件が最も大なりしと門司管理局保線事務所よりは直ちに技師出張したり（門司）

上繭は輸出繰となり

屑繭は我々の着物になる

＝朝鮮蠶業の現況＝（二）

朝鮮産總額 の約六割 昨今汽車旅行をすると少し大きな驛々には袋入り又は蓆包みの繭が山積せられドシ／＼内地に送られて居る。此の内地に送らるゝ繭は（昨年總産額十二萬餘石中七萬石移出された一石平均百五圓に見て七百三十五萬圓）其内の又三割は愛知縣即ち豐橋方面に送られて國内消費の絹織物用繰となり、二割は信州に、五割は各府縣に送られて共に米國行の生絲となるのである故に總額の四割だけが京城や大邱の製絲場で製絲され又は **鮮婦人の手** により繰絲されて周衣などの織物にされるのである。之を今少し詳しく云ふと昨今各道で共同販賣を行ひつゝある繭の特等品から四等位の品は多く米國行生絲となり五等品から以下の屑繭や玉繭や出殻繭等養蠶家の餘り喜ばない程度の繭が絹綿紡績で縮緬や銘仙や大島紬などに造り出さるゝのである言ひ換れば **我々日本人** は羽二重の樣な特別品を除く外、上等の繭で製造した着物を着る程に生活が向上して居ない譯である。今朝鮮には大邱に山十組製絲場（六百五十釜）片倉組製絲場（三百釜）朝鮮製絲會社（二百釜）等の會社があり全體で千四百名からの鮮工女を使役して米國向生絲を製して居る片倉組や山十組は内地でも第一流の會社だけに將來 **朝鮮に於て** 大いに製絲事業を起すべく工場地に五百釜の計畫で着手して居る現今は僅に試驗的に經營して居るに過ぎないのであるから追々第二、第三と工場地を選定して到る處に工場を建設するとの事である京城には朝鮮で一番古い恩賜授産製絲場（九十六釜）があり齋藤久太郎氏の齋藤製絲社（百釜）があり兩三日前始業式を擧げた石館眞氏等の京城製絲株式會社（百釜）がある中に就いて恩賜授産製絲場は **朝鮮蠶業界** の先覺者宋秉畯子等が明治四十三年頃から建設した工場を繼承して居る最も所縁の有る工場で主として米國向きの製絲をして居るが製品を同じ授産事業の機業場や中央試驗所に送つて朝鮮産織物にて繰絲し且鮮人向の織物にして販賣する事もある。齋藤氏の製絲場は朝鮮産の繭を鮮人工女の手で繰絲し且鮮人向の織物にして **朝鮮の各地** に賣り廣め些しでも支那から織物の輸入を防過すると云ふ目的で建てられただけ染色もやれば機織もやると云ふ組織に成つて居つて最も意義ある活動を爲して居る。此の外全州に群山の岩田宇之助氏が昨秋齋藤氏と同じ目的で新設した製絲場（百二十釜）と晉州に鮮人側の製絲場（百釜）があつて目下全鮮に合計 **約一千七百** 許りの釜が据付けられて居る此の一釜に就いて日に七升の繭が要ると假定すると一百日作業するとして二十一萬石を要するから總體で三萬五千七百石……大約四萬石の繭は什麼しても朝鮮から離すとの出來ない譯である

炊出し

水害罹災民に

龍山憲兵隊に於ては二村洞の水害罹災民は龍山小學校に收容すべき筈なりしも便宜の關係上龍山憲兵分隊に收容し同分隊には京城府の吏員も出張し炊き出しに忙殺せられ居れり收容せられたるは二村洞の内鮮人三十餘名にして中には一物をも持ち出す能はず命からく避難

俘虜生活

五年の永い

解放を指折り數へて 日本に居る獨墺俘虜千二百餘名は如何に嬉しくも又樂しく其解放の日を待つて居るであらうか。 **彼等の發送** する書信の上に現はれた所を見ると許嫁の妻や最愛の妻子等へ宛てたものには近い内に自由の身となつて戀しい懷しい握手を交換したいとか互に接吻の甘い人生に歸るのを樂しむで居るなど隨分情緒纏綿たるものもある又支那に居た俘虜などは夫々解放の準備に必要な物品を色々取寄せて居る者がある又俘虜將校等は支那語の **研究に熱心** で五年の長い月日の間には支那語の研究や支那の事も頻りに研究し續けて居る、日本の事などは餘り多く研究する者はない、中には多少日本の研究をやつた者もある彼等は日本の國體が世界無比の國體である事を非常に感嘆の言を放つて居る、彼等に日本の **國體の尊き** 事を熟知せしめたのは大いに意を強うするに足る、又或俘虜將校の如きは日本人の『笑ひ』又は『微笑』或は『愛嬌』等に就て頻りに研究して居た者もあつたが然し彼等は取締とか規律とか言ふ制限の時内にあるのだから其の言ふ事は眞の彼等の意思と認め難く解放の曉に於て彼等が饒舌る所が眞實の告白である

…したる者もあり。矢野分隊長の談に依れば今回の出水は近年稀なる洪水にして恐らく明治四十二年の水害以上なるべしと又滿鐵社宅に給水の水源地浸水の爲め水全く斷水し浸水せざる家屋の飲料の水攻めに遭ひたるを以て分隊にては是れ亦救助の爲め盛に飲料水を運搬し居れり

秘密國ソロン（上）

內外蒙古の間に介在する

聞くも恐しい人喰人種國

外蒙古の東內蒙古の北に位置し興安嶺の山脈中ソロン山の麓に介在した一個の秘密國がある、ソロンの山名を取つて普通ソロン人種國と稱されてゐるが之は開闢以來の **絕對秘密國** であり世界の治外法權に置かれた特別地帶であつて國際公法も私法も尙ほ立たぬ、餘りに遼僻にあるのと蒙古の正體そのものが充分に理解されて居ないに加へて內外蒙古の何れかと云つても奥地にあるのだから廿世紀の今日に尙ほ秘密國として存在して居るも不思議では無い、抑も此のソロン人種と云ふのは今から何百千年かの以前に **露國の囚人** が流刑された特別地帶であつたのである流刑の囚人が或る年限と人數に達した時代に於て自然に一致團結して一部落を形成すると共に蒙古婦人と雜婚するに至つた結果露蒙人の混血兒といふ特別の人種が生れた、其の組成の歷史である所からソロンの一族は獰猛と排外の二つの思想によつて凝結した者の如く **紀元何年頃** に其一族が獨立團結したものか無論明かでは無いが久しい以前から日本人は勿論のこと露支蒙人は一歩たりとも其區域內に入る事は出來ぬ支那等の領域は約千七八百支[illegible]方に傳へられて居るが若し旅人の誤つて此の繩張に足を踏み入れるに於ては忽ち彼等の爲めに捕縛され殺戮されて生還する事が出來ない古來 **蒙古の奥地** に入つて生還し得るものゝ多く見るのは此の特別地帶あるが爲である、彼等は自ら遂へるソロン人種以外の人種は斯樣な處へ來るべき筋合のもので無いモシ侵入し來る者あらばソロン人種を滅亡せしむる者であるといふ頑迷な信念を持つて居たらしいこの事で今日の所では人口が何程あつて彼等の人情風俗生活如何といふ事も知ることは一切判然して居ない唯だ彼等は **自己の領域** 外より異人種の婦女を掠奪し來つて終生自己の玩弄物とし絕對に之を解放しない唯だ其掠奪された婦女子にして稀に逃れ歸つた者の口から僅に彼等ソロン人種の秘密の一端が漏れると云ふに過ぎない、恰も往昔我國に居た大江山酒顛童子を民族的に大にした者であるらしい茲に日本人として第一の蒙古通である某氏が誤つてソロン人種の郷內に入り萬死に一生を得て歸つた奇譚がある

日米間の横斷飛行

懸賞十五萬圓

桑港に於て布哇及びヒアスを經由して日本まで太平洋横斷飛行計畫を爲すもの少からず殊にラフアイエツト飛行隊に加はり佛國に出征し獨逸飛行機九個まで擊破したるヘルトホール中尉は是も桑港東京間を飛行せんとの篤志者にして十五萬圓の懸賞を發表したれば戰地より歸還の飛行將校を此競爭に參加すべしと尙日本まで到達するものなきも布哇まで飛行したるものに[illegible]ホール中尉は佛國よりの歸還の途中日本に寄り數日間滯在したることあり布哇飛行は成功すべきことを確信し居れり

入監志願の男

大邱生の鮮人

四日下關[illegible]巡査に鮮人一人が突如同巡査に向ひ…は監獄に行きたいのだから入監させて貰ひたいと依頼なせるも何ら惡事を働き居る樣子もなきより說諭を加へて立去らしめたるが其後今度は **本署に出頭** して監獄に入れて呉れといふより取調たる處此者は大邱生れ文英陸（三一）といふ者にて實兄文英鐵と共に豐前金田炭坑にて坑夫稼をなしゐたるが滿日日鮮人の大衝突の際文英鐵等もその中に加はり後藤寺警察署に檢擧され一應の取調を受けたる上文英鐵のみは放還されしも **兄の文英陸** を始め友人數名は遂に傷害罪として小倉刑務所に押送され目下小倉刑務所に入監中なるが自分一人免れては實兄や友人に對し義理が濟まぬ故入監させて貰ひたいと申立たるを以て西崎警部補は夫では監獄にやる譯には行かぬと云ふと文英鐵は私は **五圓の竊盗** を働ひて居る竊盗犯人なれば是非共監獄にやつて呉れと執拗數願するより何れにて竊取せしかと問はれ鮮日を述べ立てし事とて遂に弱しモヂ／＼してゐる處を部補に懇々說諭され失望して語を立出でたりと（下關）

◎皮膚病者の福音

嘗て內地各新聞に度々掲載せられたる癩、腋臭、白斑其他皮膚病一般の治療を實見せられたる大阪川村病院長川村恒夫氏は七日より十一日迄五日間京城本町一丁目蒲光館にて患者の治療に從事する由同病者の福音と云ふべし（寫眞は同氏）

川村病院長 川村恒夫氏

南漢江大增水

廿二尺に達す

驪州南漢江の增水は本日午前十一時二十二尺にして益々增水の傾向ある旨同地憲兵隊より報告ありたれば下流沿岸は夫々警戒に努めつゝあり

連絡船遲發

七日朝下關發連絡船壹岐丸は同九時三十八分下關着列車延着の爲め定時より四十分遲れて出港せり（下關特電）

○講和記念割引賣出し 京城本町一丁目大澤商會京城支店にては七月一日より十日迄講和記念の爲め各種時計貴金屬品寶石類機械類一切を大割引自轉車附屬品一切を小賣品に限り一割引にて大賣出し中なるが非常の盛況にて殊に地方の注文夥しと

○護國寺婦人會 旭町日蓮宗護國寺にては八日午後一時より第六回婦人會を開會座談法話を催し夜八時より法要法話あれば一般の來聽を歡迎すと

…跳返し一段の安値を出現するに有らず…下げより再び九十三錢と…思惑せられしも阪地の前後場を…一錢逆返したるを受合ひ…後場を收め…方に興味あるが如し

後場	寄付	高値	安値	
	卅七圓九十錢	卅七圓九十一錢	卅七圓八十八錢	卅七圓八十七錢

東京株式特電

七日前場 引 南滿製鐵 四三、六〇〇

マラリア特效丸 定價表金拾錢貳拾錢參拾錢五拾錢壹圓 郵稅金貳錢 販賣店各地有名藥店 本舖 林藥房 京城本町一丁目 龍山元町二丁目 代理店 山岸天佑堂 釜山辨天町 代理店 大黑南海堂 平壤大和町 代理店 森田草藥堂

角形石鹼元祖 浦本工場 京城 電話二〇一九四番 振替二三九番

各諸君の胃腸病、食傷、下痢 ケンシルウエコキス 東洋藥房 本舖

京元線平康驛前 江北自働車商會 主 朴贊

最新刊 朝鮮圖書解題 定價貳圓七十錢 送料二十四錢 鴨綠江林業誌 定價貳圓三十錢 送料二十四錢 自己を中心として 森田公美 一五〇 八 平和の青年 佐藤紅綠 一〇〇 六 巴里の三十年 後藤末雄 六五 四 出版物語 村松梢風 一五〇 八 銀座女子日又大町 桂月 一七〇 八 侠骨三人男 浪六著 定價一圓八十錢 送料八錢 大阪屋號 京城本町一丁目 振替京城二五七三番

流行玩具 袋物 食料品 テグス 釣具 針 釣竿 友近商店 釜山草梁

中元賣出し 七月五日ヨリ 同十五日マデ 日の丸小間物店 京城本町 電一九二〇番 御進物用至極體裁ノ良キ商品券調製仕候

淋病新藥 純國產にして品質效力輸入藥に優る ゴノクロール 醫學博士 楠太先生 藥學博士 佐野義職先生 實驗證明 製造監督 代理店 大阪道修町 藤澤友吉商店 發賣元 名古屋京町 小島合名會社 製造元 名古屋大池町 中央製藥合資會社 全國各地有名藥店にあり

醬油之大王 キッコーマン 龍 野田醬油株式會社 仁川 濱

資本金 六百萬圓 積立金操越金百貳拾五萬圓 株式會社 十八銀行京城支店 京城府南大門通 電話 同 新龍山支店 同 龍山出張所 銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

大阪市 百圓進呈 ばいりん 有田ドラッグ 朝鮮のにせ物 京城龍山仁川 有田ドラッグ 支店 大阪心齋橋筋 有田ドラッグ

みだれ咲き

第八十一回　島山碧波作　森田久畫

薄命兒山中龍雄は、世の中の總てを悲觀し、青山原頭の露と消えやうとした時、天は此の不幸なる少年を憐んで其の祖父に當る二階堂伯の手を假りて助けした。

夫ばかりではない、伯爵は龍雄から少しも僞りもない報告を聽くと、

『是れは遺言状を僞作する奴がある』

幸にして山中子爵の病氣が快方に赴いて居るならそんなこともないか、さうでなくて藤村侯爵と艶子夫人が渡鮮すれば、さうした處にまで心を配らねばならぬと思つた。

『斯う云ふ時には村田のやうな武士氣質の男が行けが宜いが、龍雄一人では心許ない』

とは思ふものゝ、渡鮮して始終

『ナニ自動車の運轉手が操子に恩義を羅す』

忽ち暗い色を面に浮かべた二階堂伯は。

『自動車の運轉手なぞには碌な人物が無い』

『…………』

祖父に當る二階堂伯が、牧野の人格を知らずに口汚く罵る。

『お祖父樣…………』

龍雄は牧野の爲めに辯護をしやうと思つた、自分等姉弟のために陰になり陽になつて庇護をする忠義者のために、老伯の誤解を解かうとしたのであつたが、其時一聲の汽笛が夜の品川驛頭に鳴り響いて悲しい別れを告げてしまつたのであつた。

『姉さんのことは心配をせずに行つて來なさいよ』

其の枕頭で看護して居れば、憎むべき藤村父娘の毒手を防ぐことが出來ると思ひ、夫と無く大なる注意を與へて品川から西下の旅に就かしたのであつた。

『[illegible]は途中に氣を附けて行きなさいよ』

將に發車しやうとする下關行列車の窓外に立ち、二階堂伯は健氣な少年に長途旅行の注意をするのであつた、斯んな少年一人を、遠く韓山に送ると云ふのも、山中家の財産に眼を付けた惡漢共が毒計を廻らす惡魔の群が多い爲めと思ふと、老伯爵は孫達が何不自由の無い家に生れて居ながら斯んな苦勞をするのを泣くのであつた、幾ら堪へて居ても知らず／＼の裡に不覺の涙が溢れるのであつた。

『お祖父樣成るべく早く戻つて來ますが、どうか餘所ながら姉さんの身を護つて下さい、邸には自動車の運轉手で牧野と云ふ忠實な者が居ますが、イザと云ふ時には身分が身分ですから』

老眼に涙を溜て居る二階堂伯は、白きハンケチを高く振りつゝ西下する龍雄を送つた。

西へ行く列車は夜の底の箱根を越して、龍雄が眼の覺めたのは名古屋も何時の間にか後にした濃尾の平原であつた、其の昔天川びの若さ化した伊吹山嵐の颪風寒き大平原であつた。

『あゝ馬鹿に寢過ごしてしまつた』

彼れ[illegible]洗面所へ入つた。

さうして食堂へ行つて朝食を濟まして居る内に、長き列車は琵琶の湖畔を西へ急いで居た。

『對馬旅行に來たことがあつたが今日は一人で淋しい旅を續けなければならない』

列車が瀨田の長橋を窓外にして疾走する時、龍雄は我れにも

人蔘キャラメルは　ミルクチョコレート　[illegible]高等菓子[illegible]

遠くホロリとした。

『失禮でございますが、若樣はどちらまで行らつしやいます』

列車が今しも舊都へ著いた時、國府津から同車をして來た一人の美人が、龍雄に向つて馴れ／＼しく聲を掛けた、途中で二三度言葉を交したり新聞を貸したりした二十位の美人、以前は彼れの前に腰を掛けて居たが、京都へ來て龍雄の隣に空席が出來ると、其處へ席を變へて龍雄の行先を訊した。

『僕ですか、朝鮮の京城まで行くのです』龍雄の返辭には愛想が無かつた。

『あら、私も京城へ參るのですわ』と、答へた美人は、片頰に深い靨を見せて龍雄の顏をヂッと瞶めた。

京城　朝鮮製藥合資會社　人蔘實母散　金十五錢　金壹圓　金四十錢　金五圓

製絨拂下進捗

[illegible]織業の三[illegible]たる東京毛織と[illegible]日本[illegible]同行惱みの爲め[illegible]副る會社に對し約二百萬圓内外の價格を以て拂下ぐる[illegible]を示せる者と解すべき理由あり從つ[illegible]が右は製絨所の拂下げを前提とせる者と解すべき理由あり從つ[illegible]

禁を犯して網

大邱府東[illegible]面稻洞新溪[illegible]大邱水道上水保護區域内に於て禁令の揭示ある[illegible]

甲斐々々しい佛國の女學生

巴里婦人に學ぶ事が多い

戰禍の炎に包まれた巴里人は只下を通じて『此の「戰」と云ふ』思惜で卓越せる實際上の聖備と滿腔の熱誠とを以て悉く征獨の旗下に集まつた銃後の人たる本分を盡し[illegible]與國の主力たるに恥ぬ戰捷の月桂冠を贏ち得た最近歸朝の某議員高官の巴里談に曰く『戰時の巴里人は十二三歳の小學少年ですら少年義勇軍を組織し中學生は卒業後直ちに戰線に立ち得るべく軍事教育訓練が施され大學生に至ては全部戰線に立ち爲めに學園に殘る大學生は虚弱者か戰線で負傷した人が治療勞滯つて居るに過ぎない高女學生はYWCA等に云ふ戰時後援會に加入して銃[illegible]

熱血と赤誠の

[illegible]の他の[illegible]間投を配り[illegible]拱手傍觀して居る人間は一人も無い就中青年の愛國心の高調は凄じいもので一時『巴里に非ず無し』の言葉さへ起り、人の脈管に流れ國民皆兵の實は翠つた戰勝は此の根强い佛蘭西魂の結晶が齎した成果であつて人耨して巴里人を驕奢の民と一概に考へるのは巴里のダークサイドのみを見て此の與國の神髓を覗ぬ人の言であると

四いろの雲

夏の雲の形が綺麗な時です、この雲には白、黑、赤、黃の色があります、白い雲は地から昇る、黑い雲は水から昇る雲、赤い雲は火から昇る雲、黃色い雲は風を齎す雲だと昔の本に書いてあります

龍天に昇る

嘉永元年七月十八日のことです京都に白い雲が現はれました、長さ二千丈、形は蛇のやうで西方から四條朱雀の邊で地に迫り瓦を飛ばしそれから段々騰つて鴨川から空高くなつて見えなくなりましたその時の人はこれを龍が天に昇つたのだと申しました

顏も黃色

天文十五年八月二十三日黃色い雲が京都の西方に見はれました、その時草も木も人の顏も眞黃色に變りましたそこで時の天皇は詔して延曆寺、園城、東大、金剛峯寺等で七佛藥師八大龍神等の新り災難除けの御祈禱をなさいました

梅干の漬け方

梅干の漬け方は青梅を二晩ほど水に漬けてから鹽に漬けると梅干になつてから種ばなれがよいと申します、赤紫蘇は一度鹽揉をして、うす黑い汁をしぼり捨てゝから梅を一緒につけ込みます、そして土用中に容氣の乾燥して居る頃を見定めて三日三晩程干します、この時少しでも雨に當てゝはいけません、それから瓶か桶に漬込んで目ばりをなし濕氣のかゝらぬ所に置くことです梅干しに黴が生へたり梅干が腐つたりするとその年その家に何か不祥なことがあると云ひ傳へられて居ます

日報俳壇

夏に入りて明るう　京城　後藤背丘

屋根草の生ひ下る五月埃かな
簀下ろして病む子に暗き四葩哉
朝靄の花吹く湖の暮風かな
塔の上に宵月出でぬ蚊喰鳥
藥屋根を降り腐らしぬ五月雨
梅雨暗く腹綿の出し蛩かな
[illegible]

日報歌壇

乳を病みて　水島双葉（大連）

[illegible]

日報柳壇

劍花坊選

彌次馬　[illegible]

お惣菜

▲松葉飯　切り昆布を水で洗つて[illegible]

悩みの解答

▲果子店の小僧さん[illegible]

（南大門より蓬萊町二丁目に至る線）蓬萊町二丁目より青葉町三丁目に至る線）即ち第五線と第十一線の接合地點は大凡現時の孰れの地所に當る哉有接合地點は多分中林洞の内にて有之べく推察候得共今少し明確に承知致さば仕合に御座候（中林洞人）▲市内團　姊生様　先日當欄で大田附姊生兄に御知らせ致しました記事中に服藥七週間とありましたがあれば一週間の誤です貴兄の御病氣も二週間位服藥せられたら必ず全快なさいます（不町生）▲文學好様あなたの[illegible]

りん病　[illegible]武藤龜吉

丸見屋建築材料　セメント　石灰　左官材料一式　各種色土砂　布海苔苆　各種塗用品　建築材料種々　火山灰硅藻土　各種耐火煉瓦　各種煉瓦土管瓦　鑄工用製鐵所用品　各種銃鐵製造　石灰特約販賣　京城　戸澤商店

瀧生賓店

ルーデサック

りん病　淋滅

三ツワ石鹸

○ミツワ石鹸　大形一個金貳拾五錢　中形一個金十八錢　小形一個金十二錢　極小形一個金六錢

これはミツワ石鹸と云へば石鹸を代表するかのやうに思はれてゐますが、且つ其販額が本邦唯一の多額を占めてゐるからであります、ミツワ石鹸の品質優良で、本邦人の皮膚毛髪の洗滌に最も適合し、刺戟を感ずる處なく、細かき泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、浴室に用ひて半途に溶け崩れる虞がないと云ふ特徴を備へてゐますので、浴室用化粧として、衞生經濟に合致した理想的實用品であります。

○特製ミツワ石鹸（赤箱入）　定價一個金四十錢　半打金一圓二十錢　一打金二圓四十錢

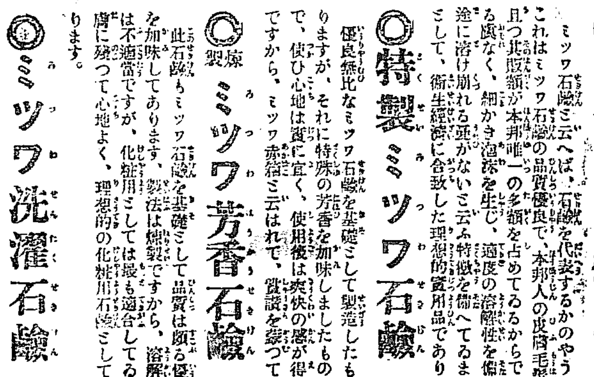
優良無比なミツワ石鹸を基礎として製造したもので、品質は同等であります、が、それに特殊の芳香を加味しましたもので、其芳氣は頗る揚溢で、使ひ心地は實に宜く、使用後は爽快の感が得られます、赤箱の包裝ですから、ミツワ赤箱と云はれて、賞讃を蒙つてゐるものです。

○煉製ミツワ芳香石鹸　定價一個三十番金三十五錢　五十番金五十五錢　一個百番金貳圓

此石鹸もミツワ石鹸を基礎として品質は頗る優良で、馥郁たる芳香料を加味してあります、製法は煉製ですから、溶解頗る容易で、浴室用には不適當ですが、化粧用としては最も適合してゐます、温雅な芳香は肌膚に殘つて心地よく、理想的の化粧用石鹸として最も完全したものであります。

○ミツワ洗濯石鹸　定價金八錢　大形金十五錢

從來の粗製品とは異つて、除垢力は强く、地質を傷めないで、洗濯の目的を達しますもので、絹布毛織物の洗滌に用ひて、十分の効果を奏します故に、斯る完全な洗濯石鹸は、ミツワ洗濯石鹸以外にはありません、各家庭及び工場用として、唯一の理想的洗濯石鹸として推賞されてゐます。



ミツワ家庭藥　○　肝油ドロップス

東京市日本橋區橋町四丁目　丸見屋商店　振替東京七一〇番　營業部電話長浪花三〇四四・八四四・九〇五〇

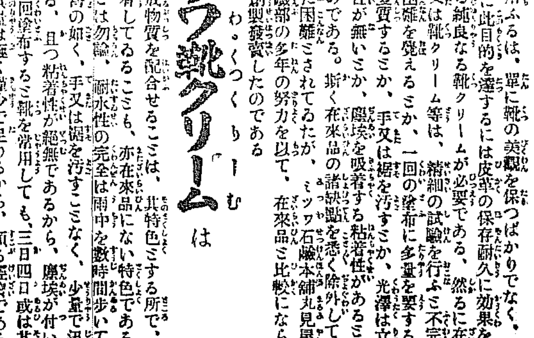
皮革の保存耐久に特效を有する代表品
專賣特許
○ミツワ靴クリーム　みつわくつくりーむ　定價一個金參拾錢

靴に靴墨又は靴クリームを用ふるは、單に靴の美觀を保つばかりでなく、靴の使用能率を高むる爲である。故に此目的を達するには皮革の保存耐久に效果を有し、光輝ある色澤を迅速に發揮する純良なる靴クリームが必要である、然るに在來の刷毛を用ふる靴墨や靴インキ、又は靴クリーム等は、精細の試驗を行ふと不完全なものが多く、硬に過ぎて塗布に困難を覺えるとか、一回の塗布に多量を要するとか、一壜の半分を使用しない中に變質するとか、手又は裾を汚すとか、光澤は立派でも皮革に無效であるとか、防水性が無いとか、塵埃を吸着する粘着性があるとか、其他尚多くの缺點を有してゐるのである。斯く在來品の諸缺點を悉く除外して、優良なるものを案出するのは、甚だ困難とされてゐたが、ミツワ石鹸本舖丸見屋商店に於ては、ミツワ化學研究所試驗部の多年の努力を以て、在來品と比較にならぬ程完全無缺優良な靴クリームを、創製發賣したのである

○ミツワ靴クリームは

皮革の保存耐久に特效ある成物質を配合せることは、其特色とする所で、靴クリーム中に於て獨り專賣特許を有してゐることも、亦在來品にない特色である、立派に艶々しく磨き上げられることは勿論、耐水性の完全は雨中を數時間歩いても、靴に光澤が發揮されるのである、光澤は得の如く、手又は裾を汚すことなく、少量で迅速に十分に光澤が發揮されるのである、且つ粘着性が絶無であるから、塵埃が付いても拂へば譜の如くなるのである、一回塗布すると靴を常用しても三日四日或は其以上同樣の光澤でゐられる、そして其量は極く僅少で足りるから、頗る經濟である、又保存中變質の惧や、皮革に害を及すことなど勿論無いので、靴を用ふる以上は、此ミツワ靴クリームを用ふるに限るのである。

靴は如何に高價でも安價でも、優良な靴クリームを使ふ使はぬことで、保存耐久に大なる關係がある、殊に靴の價格が騰貴してゐる今日では、其保存耐久に特效ある此靴クリームは益々必要である。



發賣元　東京市日本橋區橋町四丁目　丸見屋商店　登錄商標○ミツワ

賣捌店　洋品舖、化粧品店、雜貨店、洋酒食料品舖、文房具學校用品店

ミツワ石鹸　ミツワ歯磨　ミツワ香油　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　御化粧品

日本郵船出帆
大阪商船出帆（仁川出帆）
五光商會汽船廣告
朝鮮郵船出帆
[illegible]